がん診療連携拠点病院等 現況報告書 今和6年9月1日時点について記載

✓ チェッ	ク欄	に未	λ
and the second second			

		<u> </u>		
1. 推薦区分	地域がん診療連携拠点病院	令和7年4月1日以降の指定更新を希望しない場合は選択してください	~	
現行の指定区分	地域がん診療連携拠点病院	また、その場合は推薦区分に現行の指定区分を便宜的に選択してくた	~	
特定機能病院の承認	承認なし	(承認あり/承認なし)	~	
臨床研究中核病院の承認	承認なし	(承認あり/承認なし)	~	

※推薦時点で、拠点病院等として指定を受けていない施設を推薦する場合は、G6セルで「新規指定推薦」を選択してください。

※令和7年4月1日以降の指定更新を希望しない施設においては、K5セルで「指定辞退」	を選択してください。						
2. 病院概要 (1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	砂川市立病院					13	
よみがな	すながわしりつびょういん					14 15	~
(2)所在地等						16 17	
	073-0196					18	V
住所	北海道	砂川市西4	条北3丁目1番1号			19	V
よみがな		すながわし	にし4じょうきた3ちょうめ1ばん1ごう			20	~
電話番号(代表)	0125-54-2131 0125-54-0101					21	<i>V</i>
FAX番号(代表) e-mail(代表)	info@med.sunagawa.hokkaido.jp					22 23	V
HPアドレス	https://www.med.sunagawa.hokkaido.jp)				24	V
所属するがん医療圏	中空知					25	~
所属する2次医療圏	中空知					26 27	~
(3)病床数等						28	
①病床数						29	
総数				492	床	30	<u> </u>
うち療養病床 うち一般病床				0 408	床	31 32	<i>V</i>
うち特別療養環境室としている病床				100	床	33	<u> </u>
うち集中治療室(※特定集中治療室管理料を届け出ている	るものに限る)			12	床	34	V
②外来化学療法室				12	床	37	~
(4)職員数		総鵈	員数(事務職員含む、常勤職員の人数)	956	人	36	V
・常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤 32時間以上勤務している者を常勤とし、その他	務する者をいう。病院で定めた医 加は非常勤とする。	師の1週間	の勤務時間が、32時間未満の場合は、			37	
①職種別内訳	3.6071.1123.207.00					38 39	
①職種が内部 ※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種し	こついてのみ記載。	非常勤		常勤		40	
		※(常勤換算	I)			41	
医師		3	Д	103	Д	42	
歯科医師		0	Α	2	Д	43	~
薬剤師		0	Д	30	人	44	~
保健師 助産師		0	<u> </u>	0 24	人	45 46	<i>V</i>
		20	<u>^</u>	452	Λ 	47	~
准看護師		13	χ.	4	Λ λ	48	~
理学療法士		0	Д	18	人	49	~
作業療法士 視能訓練士		0	<u> </u>	8	<u>Д</u>	50 51	V
言語聴覚士		0	<u>^</u> Д	4	À	52	
義肢装具士		0	Д	0	人	53	~
歯科衛生士		0	<u>۸</u>	4	<u>ا</u>	54	~
歯科技工士 診療放射線技師		0	<u> </u>	0 28	<u>Д</u>	55 56	<i>V</i>
臨床検査技師		1	<u>^</u>	31	λ	57	
衛生検査技師		0	Α	0	Д	58	~
臨床工学技士		0	Д	20	Д	59	~
<u>管理栄養士</u> 栄養士		0	<u>Д</u> Д	11 2	<u>Д</u>	60 61	V
社会福祉士		0	<u>Д</u>	6	Λ λ	62	V
精神保健福祉士		0	Д	6	Д	63	~
公認心理師		0	<u>.</u>	3	<u>ل</u>	64	<u> </u>
介護福祉士 救命救急士		0	Д Д	36 0	A A	65 66	<i>V</i>
	=		<u> </u>		-	67	
※②~④については、複数の資格を持つものは、両方にカウン②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について	<u>小する。</u> こ	非常勤 ※(常勤換算	[]	常勤		68 69	
一般社団法人 日本内科学会 内科専門医			Д	6	Д	70	~
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医		1	<u>.</u>	2	<u>۸</u>	71	~
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医		0	<u>ا</u>	1	人	72	<i>V</i>
公益社団法人 日本精神神経学会 精神科専門医 一般社団法人 日本外科学会 外科専門医		0	Д Д	1 6	<u> </u>	73 74	V
公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専門医		0	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	3	λ	75	V
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医		0	Д	2	λ	76	~
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医		0	Д	0	Д	77	V
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医		0	۸	1	<u>ل</u>	78	~
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頚部外科学会 耳鼻咽		0	<u> </u>	1	<u>۸</u>	79	<u> </u>
特定非営利活動法人 日本頭頸部外科学会 頭頸部がん 一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	并门区	0	<u>λ</u>	0	<u>Д</u>	80 81	~
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会	÷ 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	<u>^</u>	3	λ	82	V
一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医		0	<u>, </u>	3	λ	83	V
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線科専門医		0	٨.	1	Д	84	~
一般財団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会	IVR専門医	0	Д	1	۸.	85	~
一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医		0	人	- 1	人	86	~

一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0	人	1	人	87	~
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0	Д	3	人	88	~
一般財団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	1	0	1	89	~
	_	^		^	-	
一般社団法人 日本集中治療医学会 集中治療専門医	0	Λ	0	٨	90	~
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0	λ	1	人	91	~
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	人	1	人	92	~
一般社団法人 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医	0	Д	0	人	93	~
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	,	1	,	94	
	0	,	0	7	-	
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医		Λ		٨	95	~
一般社団法人 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	λ	0	人	96	~
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0	人	1	人	97	~
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0	λ	5	Д	98	_
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	0	1	2	1	99	_
	_	^		<u>`</u>	-1	
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0	۸	3	Д	100	
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0	<u>ل</u>	1	人	101	
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	1	人	102	· ·
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	0	λ	- 1	Д	103	_
一般社団法人 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医	0	1	0	1	104	
		^		^	_	
一般社団法人 日本内分泌学会・日本糖尿病学会 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医	0	۸	0	٨	105	
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0	人	2	人	106	~
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0	人	3	人	107	· ·
一般社団法人 日本脳卒中学会 専門医	0	Α	3	Д	108	~
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0	λ.	0	λ.	109	~
	0	Ti	0	1	110	_ <u> </u>
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医		<u>^</u>		^	4	
膠原病・リウマチ内科領域専門医	0	٨	0	٨	111	
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	0	<u>, Д</u>	1	人	112	~
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0	Λ	2	<u></u>	113	~
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	0	Д	2	Д	114	~
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医	0	fi.	0	1	115	<u> </u>
	_	<u>^</u>		^	-	
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医	0	^	0	٨	116	
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	<u>, </u>	0	人	117	~
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0	Λ	0	<u></u>	118	~
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	λ	0	,	119	~
	0	fi.	1	1	120	<u> </u>
心臓血管外科専門医認定機構・心臓血管外科専門医		<u>^ </u>		^	-	
一般社団法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	Д	0	人	121	~
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺外科専門医	0	人	0	人	122	~
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	Д	1	人	123	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師	0	λ	1	,	124	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師		1	0	1	125	<u> </u>
	_	^		^	_	
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0	λ	1	人	126	~
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0	人	1	人	127	~
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0	Д	1	人	128	~
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0	,	0	1	129	~
	0	1	2	1	130	
				^	130	
一般社団法人 日本老年医学会 老年科専門医		^		1.		
一般任団法人 日本老年医学会 老年科學門医 公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医	0	л Д	0	Д	131	~
		<u>Д</u>		Д Д	131 132	<i>V</i>
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医	0	Д Д Д	0	Д Д Д	-	
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	λ λ λ	0 7	Д Д Д	132 133	~
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医	0 0 0	\(\) \(\)	0 7 0	Д Д Д	132 133 134	<i>V V V</i>
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0	Д Д Д Д	132 133 134 135	v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0 0 0 0 0	Д Д Д Д	0 7 0 0 1	Д Д Д Д Д	132 133 134 135 136	\(\times \)
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0 0 0 0	Д Д Д Д Д	0 7 0 0	Д Д Д Д Д	132 133 134 135	v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д	0 7 0 0 1	A A A A A A	132 133 134 135 136	\(\times \)
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д	0 7 0 0 1 1	A A A A A A	132 133 134 135 136 137	\(\times \) \(\t
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д	0 7 0 0 1 1 0 0	A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本相尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д	0 7 0 0 1 1 0 0	A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本期保病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0	A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 解尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0	A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内病鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 0 0	A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 解尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0	A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内病鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 0 0	A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本神尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本神尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内分泌外科学会 かん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内の必学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本相尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本線和医療学会 認定療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 2 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内治療学会 肝臓等会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本標質会 認定郵門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定すめ・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 0 0 0 1 1 2 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
☆	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本神化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規形療学会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定すびん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本担音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本印除外科学会 口腔外科専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 0 0 0 1 1 2 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
☆	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 7 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本神化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規形療学会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定すびん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本担音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本印除外科学会 口腔外科専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 7 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0		132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本神化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規形療学会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定すびん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本担音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本印除外科学会 口腔外科専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 7 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0		132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器神領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本集団を豪守会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 7 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 0 0		132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本店床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本相尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 中般社団法人 日本内視鏡外科学会 認定療理医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 整定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 整定専門医 一般社団法人 日本の投資は大学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本の投資に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器神領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本集団を豪守会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0		132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規能外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本基督学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 起音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本の理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本の理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科学会 日本病理学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 漢化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 認定那器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本人視鏡の子会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本規範を学会 認定事門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本月類遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本月類遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 歯科医師 公益社団法人 日本の理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規能外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本基督学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 起音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本の理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本の理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師) 日本病理学会 口腔外科学会 日本病理学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学会 日本病理学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 漢化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 認定那器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本人視鏡の子会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本規範を学会 認定事門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本月類遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本月類遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 歯科医師 公益社団法人 日本の理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本四分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 所協専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本契配医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本が・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本の経費会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本の理外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の理外科学会 口腔外科専門医(医師) 歯科医師 公益社団法人 日本の理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	λ λ	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 1 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 154 155 156 157	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 所分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本経和医療学会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 整定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 整定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本の摂遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本の理外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「大田神子・「大田神神子・「大田神神神神神神子・「大田神神神神子・「大田神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 神尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規定学会 認定専門医 一般社団法人 日本基礎学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 着種専門看護師 老人看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淺尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本本規範等会 認定専門医 一般社団法人 日本大種医学会 認定専門医 一般社団法人 日本上殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本国音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「お社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「歯科医師 「公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 さん看護専門看護師 きなまま看護専門看護師 きなまま看護専門看護師 きなまま看護専門看護師 きなままままままままままままままままままままままままままままままままま	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡外会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本共和医療学会 認定專門医 一般社団法人 日本規範外科学会 認定專門指導者 一般社団法人 日本経神医療学会 認定専門医 一般社団法人 日本経過医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本経過医学会 建産疾専門医 一般社団法人 日本の腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本籍専門看護師 本看護専門看護師 本看護専門看護師 老人看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念述是書籍事門看護師 念述是書書看書	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 161	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本非職学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本神鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本人規遺伝学会 認定療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 認定療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本の授外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本緒世法人 日本痛護協会認定) がん看護専門看護師 本名看護専門看護師 忠生・重症患者看護専門看護師 窓生症患者看護専門看護師 窓生症者護専門看護師 窓生症者護専門看護師 家族支援専門看護師 家庭会社会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡外会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本共和医療学会 認定專門医 一般社団法人 日本規範外科学会 認定專門指導者 一般社団法人 日本経神医療学会 認定専門医 一般社団法人 日本経過医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本経過医学会 建産疾専門医 一般社団法人 日本の腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本籍専門看護師 本看護専門看護師 本看護専門看護師 老人看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念述是書籍事門看護師 念述是書書看書	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 161	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 神場人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本基礎医学会 認定専門基 一般社団法人 日本系種医学会 認定療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和月遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和月遺伝学会 臨床遺伝専門医 公益社団法人 日本和野学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本籍世別法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本着護専門看護師 本人看護専門看護師 本人看護専門看護師 念者程専門看護師 念生・垂症患者看護専門看護師 家族支援専門看護師 およりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本川藤学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本川藤学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本川藤寺会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸解外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸解外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本共健学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーターー般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和がか・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーターー般社団法人 日本和類遺伝学会 臨床遺伝専門医(医師) 一般社団法人 日本和腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 衛科医師 公益社団法人 日本有護協会認定) がん看護専門看護師 神看護専門看護師 意味を看護専門看護師 意味を看護専門看護師 意味を看護専門看護師 意味を看護専門看護師 意味を看護専門看護師 意味を看護専門看護師 遠伝看護専門看護師 遺伝看護専門看護師 しまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいまたいま	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 161 162 163 164	V
公益社団法人 日本協定腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用職学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本開機学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 阿吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 阿吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海に器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本規範外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本経療学会 認定専門医 一般社団法人 日本経療学会 医定専門医 一般社団法人 日本経療学会 医定療専門医 一般社団法人 日本経療学会 医療療専門医 一般社団法人 日本に歴史会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本に整体の表別を開展していました。 市会社団法人 日本に対した 日本の経療学会 四腔外科学の関係(医師) 一般社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本内腔外科学会 口腔外科専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本有護専門看護師 公益社団法人 日本有護協会認定) がん看護専門看護師 本人看護専門看護師 家族支援専門看護師 家族安保・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・工程・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 2 0 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	V
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用騰学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本用光線交会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 溶尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本基極医療学会 認定等門医 一般社団法人 日本基極医学会 認定専門医 一般社団法人 日本基種医学会 起音速専門医 一般社団法人 日本上殖医学会 起音波専門医 一般社団法人 日本内療遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本内療遺伝学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本内腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本清護専門看護の金融では、日本原理・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 1 2 2 2 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167	V
 公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医 一般社団法人 日本が心治療認定医機構 が心治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 が心薬物療法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本用職学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 所以下の場所を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 7 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 1 2 2 2 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168	V
公益社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 所職専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本所減労会 所以の対象等等 所以の対象専門医 一般社団法人 日本所以の対象等会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌化謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 所以の場別 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 適化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 総和医療専門医 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 認定専門医 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本が小・生殖医療学会 認定が小・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本が小・生殖医療学会 超音波専門医 公益社団法人 日本が小・生殖医療学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医(医師) 一般社団法人 日本和音波医学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「新国医師公益社団法人 日本有護協会認定」 が小看護専門看護師 地域看護専門看護師 地域看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 っと看護専門看護師 っと看護専門看護師 っと看護専門看護師 または 秋心性疼痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 がりず記を看護専門看護師 近伝看護専門看護師 または 水の性疼痛看護認定看護師 がりず記を看護神門看護師 または 水の性疼痛看護認定看護師 がりず記を看護神門看護師 または 水の性疼痛看護認定看護師 がりずいかった。本には 東中ケア認定看護師 がりずいかった。本には 東中ケア認定看護師 かり、大の大性疾痛看護認定看護師 のいる、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 0 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169	V
 公益社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医特定非営利活動法人 日本店に腫瘍学会 がん漢物疾法専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本所臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 所以の大け (場別・2000年) 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 所以の大け (場別・2000年) 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減水器料領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 減水器料領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門接 一般社団法人 日本共殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 建原療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーターー般社団法人 日本経音波医学会 超序遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超序波の下断に医師) 一般社団法人 日本和音波医学会 超序波甲医(医師) 一般社団法人 日本和音波医学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本内腔外科学会 口腔病理専門医(医師) 着科医師 公益社団法人 日本内腔外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本有護時間 本人看護専門看護師 本人看護専門看護師 本人看護専門看護師 家族支援専門看護師 またまが人性疼痛看護認定看護師または 集中ケア認定看護師 なり場を指護的または がん性疼痛看護認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 または ボルペ学療法看護認定看護師 がり来物療法者護認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 カリティカルケア認定看護師または 集中ケア認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 または がん性疼痛者護認定看護師 カリティカルケア認定看護師または または ボルペ学療法看護認定看護師 本名・大会・経験の表とを表しまれば、大会・経験の表とを表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表と表しまれば、大会・経験の表しまれば、大会・経験	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170	
公益社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 所職専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本所減労会 所以の対象等等 所以の対象専門医 一般社団法人 日本所以の対象等会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌化謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 所以の選別の対象を 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 適化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 総和医療専門医 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 認定専門医 一般社団法人 日本外視鏡外科学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本が小・生殖医療学会 認定がい・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本が小・生殖医療学会 超音波専門医 一般社団法人 日本が小・生殖医療学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医(医師) 一般社団法人 日本和音波医学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「大田法」の本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本有護液学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「大田療師」を人看護専門看護師 な者種連門看護師 または衛神門看護師 または衛神門看護師 またまが紀巻療護部定看護師 または集中ケア認定看護師 が小の薬物療法看護認定看護師 または 秋急看護認定看護師 がりナイカルケア認定看護師 または 水色香護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 がりまる種談記定看護師 または 水色香護認定看護師 がりまる種談記定看護師 または 水色香護認定看護師 がりまる種談記を看護師 または 水の大性疼痛看護認定看護師 がりまる種談記を看護師 または 水の大性疼痛看護認定看護師 がりまる種談記を看護師 または 水の大性疼痛看護認定看護師 がいる薬物療法看護認定看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 がいる薬物療法看護認定看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 かりまる種談記を看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 のいる表情談記を看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 のいる表情談記を看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病看護認定看護師 または 水の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病看護認定看護師 または 紫の大性疾病者養婦の大性疾病者養婦の大性疾病者養婦 または 紫の大性疾病者養婦 またれば またれば またれば またれば またれば またれば またれば またれば	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 0 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169	V
☆益社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内の治外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本所と等会 所職専門医 一般社団法人 日本所の分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本所の分泌外科学会 所以書門医 一般社団法人 日本所の分泌外科学会 消化器内視鏡等等 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 運和婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 建殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 建殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 超定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 超序専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超床遺伝専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本の理外科学会 口腔外科専門医(医師) 「一般社団法人 日本の理外科学会 口腔外科専門医(医師) 「大田 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170	
☆益社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 特定非営利活動法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本所議学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本海に罹み残止 消化器内視鏡中門医 一般社団法人 日本海に精力視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本海に精力視鏡学会 海化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本海に精力視鏡中 (中級社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海化器・般外組領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 総和医療専門医 一般社団法人 日本が規等会 認定専門海者 一般社団法人 日本が極学会 認定専門医 一般社団法人 日本本が・生殖医療学会 認定が・生殖医療ナビゲーター一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) オ護師(公益社団法人日本有護協会認定) がん看護専門看護師 地域看護専門看護師 老人看護専門看護師 まと素看護専門看護師 まと素看護専門看護師 家族支援専門看護師 まと素看護専門看護師 な会者で表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д	0	۸ ۸	132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 157 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 170 171	

_ - - 感染管理認定看護師		0	人			2	人	174	~
手術看護認定看護師		0	л Д			0	. .	175	~
乳癌看護認定看護師		0	<u>ا</u>			1	<u>ا</u>	176	~
_認知症看護認定看護師 がん放射線療法看護認定看護師		0	Д Д			0	Д Д	177 178	
その他専門的技術・知識を有する医療従事者		非常勤	•			常勤	-	179 180	
		※(常勤換算	I)				1.	181	
一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定 一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師	E楽剤師	0	λ			0	<u>ا</u>	182 183	
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬		0	Д			2	人	184	~
一般社団法人 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認知		0	Д			2	人	185	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	構	0	人			4	人	186	~
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士		0	人			3	人	187	~
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士	<u>專門放射線技師</u>	0	人			4 0	人	188 189	<u> </u>
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士		0	Д			4	<u>Д</u>	190	
一般社団法人日本人類遺伝学会及び日本遺伝カウンセリング		0	<u>ل</u>			0	<u>ل</u>	191	V
一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセー般社団法人 日本病態栄養学会/	27 -	0				0		192	
公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理学		0	٨			1	Λ	193	
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理 一般社団法人 日本生殖心理学会 がん・生殖医療専門		0	Д Д			12 0	Д Д	194 195	
WENT THE TELEVISION OF THE WAY			1				1	196	
その他の従事者			1.				1.	197	
診療録管理部門の職員 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理		0	Д Д			3	Д Д	198 199	<u> </u>
臨床試験コーディネーター		0	ا			0	λ A	200	· /
での他 夜間(深夜も含む)救急対応の可否						可	(可/否)	201 202	
後間(未後も含む)教忌対応の可告 各種委員会の設置状況						1	\@Z @/	203	
倫理審査委員会	あり	(あり/なし					月1日~12月	204	V
治験審査委員会 医療安全委員会	あり あり	(あり/なし					月1日~12月 月1日~12月	205	
感染管理委員会	あり	(あり/なし					月1日~12月	207	~
								208	
長者数・診療件数の状況) 患者数等(期間: 令和5年1月1日~12月31日)								209 210	
年間入院患者延べ数※1						8997	人	211	~
							,	212	~
年間入院がん患者延べ数※2						1306	0/	-	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合						14.5	% 人	213	v
	断されたものについて計上するこ 来がん患者及び往診、巡回診療	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追	% 人 人	-	<i>V</i>
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者	断されたものについて計上するこ 来がん患者及び往診、巡回診療	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追	人	213 214 215	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の遅べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追	人	213 214 215 216 217 218 219	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追	人	213 214 215 216 217 218	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数※1例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診能※3年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 検査等の実施状況 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3 病理組織診断病理細胞診断	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追 行った場	人 人 件 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222	V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践※3年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 111 上する。 記載の追 行った場	人 人	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223	<i>V</i>
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (教養等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理細胞診断病理組織迅速組織顕微鏡検査	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	間ドック等を行い	ハ、診療録σ)作成または	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場	件件件件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225	<i>V V V</i>
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診能 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。)検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理細胞診断病理組織運動等断病理組織可能。 ブルーブ指定について 地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 皆が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人 、それぞれの診療	間ドック等を行い	い、診療録 <i>の</i>	の作成または計 記載の追加を	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場	人 人 件 件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224	<i>V</i>
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診能※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 疾理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織では組織疑微鏡検査 ブルーブ指定について地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定先の医療こと。なお、令和7年4月1日時点でグルーブ指定の組みぞ	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療料を受診し、 31日) 機関名を記入すること。グルー:	こと。 療、健康診断、人 それぞれの診療 では、それぞれの診療	間ドック等を行い 療科で診療録のイ	ハ、診療録の 作成または f定なし」と i	作成または記載の追加を記載の追加を	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場	件件件件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225	\(\frac{\psi}{\psi}\)
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織認過失益	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療料を受診し、 31日) 機関名を記入すること。グルー:	こと。 寮、健康診断、人 それぞれの診明 プ指定を受けて(間ドック等を行い 療科で診療録のイ	ハ、診療録の 作成または f定なし」と i	作成または記載の追加を記載の追加を	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行つた場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 216 2217 218 220 221 222 223 224 225 226 227	V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織認過度)が、方面と記していて地域がん診療病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある	こと。 療、健康診断、人 、それぞれの診療 で で で で が が が が が が が が が が が が が が が	間ドック等を行い 療科で診療録のイ がない場合、「指 可方のグループ指	ハ、診療録の 作成または	か作成または 記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場	件件件件	213 214	V V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※11例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2がん患者数等は、が心を主たる病名に確定診断 ※3年間外来がん患者の遅べ数な記、当年の新来、再3加を行ったが心患者の遅べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理細胞診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 ブルーブ指定について 地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。なお、会和7年4月1日時点でグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。	断されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療料を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー	こと。 京、健康診断、人 、それぞれの診例 プ指定を受けて プ指定を受けて	間ドック等を行い 療科で診療録のイ がない場合、「指 がない場合、「指 にない場合、「指	ハ、診療録の 作成または	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行つた場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 216 2217 218 220 221 222 223 224 225 226 227	\(\frac{\sqrt{\sq}}\sqrt{\sq}}}}}}}}\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}}\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 1 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定先の医療を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。	断されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療料を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー	こと。 京、健康診断、人 、それぞれの診例 プ指定を受けて プ指定を受けて	間ドック等を行い 療科で診療録のイ がない場合、「指 がない場合、「指 にない場合、「指	ハ、診療録の 作成または	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 216 217 218 219 220 221 223 224 225 226 227 228 229 229 229	V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者の遅べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 ブルーブ指定について 地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。	断されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療料を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー	こと。 京、健康診断、人 、それぞれの診例 プ指定を受けて プ指定を受けて	間ドック等を行い 療科で診療録のイ がない場合、「指 がない場合、「指 にない場合、「指	ハ、診療録の 作成または	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 216 217 218 220 221 222 223 224 225 226 227 228	V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 (検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織でがループ指定について地域がん診療病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定を配みるを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みるを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みるを記入すること。	新されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療科を受診し、 51日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 225 225 226 227 228 229 230 231 232	V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 が心患者数等は、が心を主たる病名に確定診断※3年間外来が心患者の延べ数は、当年の新来、再3加を行ったが心患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療料を受診し、 11日) (機関名を記入すること。グルー: 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー: 合わせが変更される予定がある	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 「検査等の実施状況 ア病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織記速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域がん診療病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 が治療の状況について	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療料を受診し、 11日) (機関名を記入すること。グルー: 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー: 合わせが変更される予定がある	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37	件件件件	213 214 215 216 217 218 219 220 221 225 225 226 227 228 229 230 231 232	V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 が心患者数等は、が心を主たる病名に確定診断※3年間外来が心患者の強く数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織認動所病理組織認動所病理組織認力を指定といて地域が心診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。なお、会和7年4月1日時点でグループ指定の組みでを記入すること。なお、会和7年4月1日時点でグループ指定の組みでを記入すること。なお、会和7年4月1日時点でグループ指定の組みでを記入すること。 が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。 が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。 「治療の状況」 大腸がん・肺が心・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・にの状況。 大腸がん・にの状況。 大児の状況。 大児のればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 が心患者数等は、が心を主たる病名に確定診断※3 年間外来がん患者の運べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織が必診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定について地域が心診療病院とグルーブ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みぞを記入すること。 が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みぞを記入すること。 が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みぞを記入すること。 「治療の状況について術等の状況 大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・に18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の関膜手術 K7193、K739\$、K7405腹腔鏡下手術 K7193、K739\$、K740-2\$ 「皮破鏡下手術 K7193、K739\$、K740-2\$ 「皮破鏡下手術 K719-3、K740-2\$ 「方、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロっち)	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 770 170 170 170 170 170 170 170 170 170	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 2	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 が心患者数等は、が心を主たる病名に確定診断※3年間外来が心患者の強い、当年の新来、再3加を行ったが心患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織診断病理組織記速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域が心診療病院とグルーブ指定を受けている。グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。なお、会和7年4月1日時点でグルーブ指定の組みでを記入すること。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。が心診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。がしたの状況について、情等の状況について、情等の状況について、情等の状況について、情報に対している。がいかいに対している。では、なが、いまないのでは、なが、いまないのでは、なが、いまないのでは、なが、いまないのでは、なが、いまないのでは、	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診践※3年間外来が心患者の延べ数は、当年の新来、再3加を行ったが心患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織設断病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療を記入すること。なが、会和7年4月1日時点でグループ指定の組みでを記入すること。なが、会和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療で記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件 からに関する悪性腫瘍の手術件	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断※3年間外来がん患者の選べ数は、当年の新来、再3加を行ったが心患者の遅べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グルーブ指定を受けている。グルーブ指定の組みでを記入すること。が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。グループ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでを記入すること。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合、が10年のが、11年の組みできるが、11年のでが11年の組みできる。クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・クロ・ク	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かんに関する悪性腫瘍の手術件数 ボット支援手術)	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 75270 37 1112 1122 1122 1122 1132 1132 1132 1	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 件 件 件 件	213	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来が心患者延べ数※3年間院内死亡が心患者数 ※1 例えば、同一患者数当月中に2回入院した場合※2 が心患者数等は、が心を主たる病名に確定診践※3年間外来が心患者の選べ数は、当年の新来、再3加を行ったが心患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 京理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域が心診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでき記入すること。 が心診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでき記入すること。 が心診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでき記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みでき記入すること。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 クループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでき記入すること。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 クループ指定を受けている場合、グループ指定の組みでき記入すること。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 クループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている場合でがより、方にの組みできましている場合、グループ指定を受けている。 カルーブ指定を受けている。 が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、に対して、自体が、自体が、自体が、可能が心、自体が、自体が、に対して、自体が、自体が、自体が、自体が、に対しないのでは、表に対して、自体が、自体が、自体が、自体が、に対して、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、に対して、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が、自体が	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 11日) 11日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かんに関する悪性腫瘍の手術件数 ボット支援手術)	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 それぞれの診例 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両 ブ指定を受けて 5場合は、新旧両	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 可方のグループ指 いない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診能 ※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。 1 検査等の実施状況 ア病理診断の件数(期間:令和5年1月1日~12月3病理組織診断病理組織設施所病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定たの医療を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がより表別を連携を受けている。 がいたが、会和7年4月1日時点でグループ指定の組みをを記入すること。 ・ うね(こ18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の ・ 関腹手術 K7193、K7395、K7408 ・ 腹腔鏡下手術 K7193、K721-4、K739-2、K739-3 ・ あたのは第年が用支援機器を用いるもの(ロ2時がん(C168、D00.2)の手術件数 ・ 開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$ ・ 胸腔鏡下手術 K514、K518、K518 ・ 胸腔鏡下手術 K514、K518、K518 ・ 開胸手術 K511\$、K5142、K518 ・ 同胞鏡手術 K54-2、K6552、K655-42、K6572	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 者が2つ以上の診療科を受診し、 101日) 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数 ポット支援手術)	こと。 療、健康診断、人 療、健康診断、人 でれぞれの診例 では、 でもない。 でもな、 をもない。 でもない。 をもない。 でもな、 をもな、 をもな、 をもない。 をもな、 をもな、 をも	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 があってがループ推 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指	ハ、診療録の 作成または 請定なし」と 請定先医療 請定なし」と 指定先医療	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追行った場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし 18 68 0 185	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診験 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3 病理組織診断 病理組織診断 病理組織記速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定先の医療 を記入すること。 がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みぞを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定の組みぞを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 が人診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 が上でがより、クループ指定を受けている。 が上でがより、クループ指定を受けている。 が上でがより、クループ指定を受けている。 が上でがより、クループ指定を受けている。 が上でがより、クループ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 が、クループ指定を受けている。 がん、自時点でが、クループ指定を受けている。 がたい診療連携が、クロ、クループ指定を受けている。 がおり、クループ指定を受けている。 がおいたが、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、クロ、	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 学数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 があのグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし 185 0 185 0 185	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※11 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者の延べ数な記、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3 病理組織診断 病理組織診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定先の医療 こと。なお、令和7年4月1日時点でグルーブ指定の組みで を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みで を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みで を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 プループ指定を受けている場合、グループ指定の組みで を記入すること。 「カルーブ指定を受けている場合、グループ指定の組みで でした。なが、令和7年4月1日時点でグループ指定の組みで こと。なが、令和7年4月1日時点でグループ指定の組みで こと。なが、令和7年4月1日時点でグループ指定の組みで こと。なが、令和7年4月1日時点でグループ指定の組みで がん(記載、合和7年4月1日時点でグループ指定の組みで でいた。第一次により、では、大切により、のは、大関がん・開放・下手術 K7193、K7393、K7403 腹腔鏡下手術 K7193、K739-2、K7403-3 肺がん(348、D02.2)の手術件数 開胸手術 K7218、K721-4、K739-2、K739-3 肺がん(348、D02.2)の手術件数 開胸手術 K5118、K5148、K5188 胸腔鏡下手術 K654-28、K655-42、K655-42、K655-52、K655-52、K655-54。 腹腔鏡下手術 K654-3、K655-42、K655-52、K655-52、K655-52、K655-54。 腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K655-52、K655-42、K655-42、K65-42、	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 学数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 があのグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし 18 68 0 185	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件 件	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診験 ※3 年間外来がん患者の延べ数な記、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3 病理組織診断 病理組織設連組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について 地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定をの医療を記入すること。 なお、令和7年4月1日時点でグルーブ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グループ指定をの医療を記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 イルーブ指定を受けている場合、グループ指定の組みでを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 カルーブ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 カルーブ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの経療を記入すること。 がん診療連携が表について 病等の状況 「大腸がん・間がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、所がが、・間がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん(C18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の 開腹手術 K7193、K7398、K7408 腹腔鏡下手術 K7193、K7398、K7408 腹腔鏡下手術 K7118、K721-4、K739-2、K739-3 肺がん(C34\$、D02.2)の手術件数 開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K514-2\$ うち、内視鏡手術 K514-2\$ 同かん(C16\$、D00.2)の手術件数 開腹手術 K654-2、K655-42、K655-42、K655-52、K655-42、K655-52、K655-	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 学数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 があのグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 行った場 2877 5270 37 しいえ 指定なし しいえ 指定なし しいえ 185 0 185	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診性※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再3加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 検査等の実施状況	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 学数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 があのグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追行った場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし 185 0 185 0 0 10 0 0	件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合年間外来がん患者延べ数※3年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診能 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者 合、それぞれの外来患者として計上する。 1 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月3 病理組織診断 病理組織設施 病理組織迅速組織顕微鏡検査 「ルーブ指定について 地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組みをを記入すること。 がんにおいて、第一次のは、第一次の	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 サ数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 が方のグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追 77つた場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし 185 0 185 0 185	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	213	
年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診監※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再3 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者合、それぞれの外来患者として計上する。 1 検査等の実施状況	所されたものについて計上する。 来がん患者及び往診、巡回診療 育が2つ以上の診療科を受診し、 31日) 31日) 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー、 合わせが変更される予定がある がんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 かがんに関する悪性腫瘍の手術件 の手術件数	こと。 京、健康診断、人 京、健康診断、人 それぞれの診例 プ指定を受けては 5場合は、新旧両 プ指合は、新旧両 サ数(令和5年1)	間ドック等を行い 原科で診療録のイ いない場合、「指 が方のグループ指 いない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「指 にない場合、「 13	ハ、診療録の 作成または 信定なし」と 信定な し」と 信定な し」と を を を を と と と と と と と と と	の作成または記載の追加を 記載の追加を 3入する 機関名	14.5 13243 1111 上する。 記載の追行った場 2877 5270 37 いいえ 指定なし いいえ 指定なし りいえ 18 68 0 185 0 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件	213	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V

		<i>II</i> +	054	
□ 乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの K476-32	0	件	254	~
前立腺がん(C61)の手術件数 	0	<i>II</i> +	255 256	
		件	256	
腹腔鏡下手術 K843-2、K843-4	0	件		
うち、腹腔鏡下手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)) K843-4口	0	件	258	~
肝臓がん(C22\$、D01.5)の手術件数	_	to.	259	
開腹手術 K695\$	2	件	260	
腹腔鏡下手術 K695-2\$	1	件	261	
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)	0	件	262	~
マイクロ波凝固法 K697-2\$	0	件	263	-
ラジオ波焼灼療法 K697-3\$	2	件	264	~
胆のうがん(C23)の手術件数			265	
開腹手術 K675\$	0	件	266	~
腹腔鏡下手術 K675-2	0	件	267	~
胆管がん(C240、C241、C248、C249)の手術件数			268	
開腹手術 K677、K677-2	1	件	269	~
膵臓がん(C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259)の手術件数			270	
開腹手術 K700-2、K702\$、K703\$、K704	0	件	271	·
腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$、K703-2\$	0	件	272	
うち、内視鏡手術用支援機器(ロボット支援手術)を用いて行った件数	0	件	273	
線治療の状況	, v	111	274	
			274	
以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。				
とてのがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)	100	1	276	
体外照射	136	<u> </u>	277	
定位照射(脳)	0	<u> </u>	278	
定位照射(体幹部)	0	۸.	279	
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人	280	~
粒子線治療(重粒子線、陽子線治療)	0	人	281	-
密封小線源治療	0	人	282	~
核医学治療	1	人	283	~
tが国に多いがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		_	284	
※原発巣に記載してください。			285	
肺がん	43	人	286	-
胃がん	2	,	287	_
肝がん	3	人	288	~
大陽がん	13	,	289	-
胆のう・胆管がん	0	,	290	
膵臓がん	7	7	291	
乳がん	22	1	292	-
前立腺がん	13	\(\frac{1}{1}\)	293	
	13	^		
ケアチームに対する新規診療症例の状況(重複可)(令和5年1月1日~12月31日)		1.	294	
身体症状の緩和を行った症例数	90	٨ .	295	~
青神症状の緩和を行った症例数	83	<u> </u>	296	
社会的苦痛に対する緩和を行った症例数	80	人	297	~
設で実施したがんの治療に際する妊孕性温存治療の状況(令和5年1月1日~12月31日)			298	
がんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数	0	人	299	~
上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数	0	人	300	~
《んの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数	0	人	301	~
「んの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数	0	人	302	~
「人の治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数	0	人	303	~
			304	
患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい/いいえ)	305	-
患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい/いいえ)	306	
患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	いいえ	(はい/いいえ)	307	<u> </u>
THE TOTAL PRODUCT OF THE PROPERTY OF THE PROPE	00%		308	<u> </u>
また。 記がん患者への対応について			309	
	いいえ	(はい/いいえ)	310	_
空級を開催 ている()院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)	いいえ	(はい/いいえ)	311	-
		(はい/いいえ)		
>児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。			312	-
N児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 N児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	いいえ			· ·
>児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。		分	313	
	いいえ		314	
N児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 N児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	いいえ	分	314 315	
、児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 、児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合には0を記入)	いいえ		314	

4/44 模式4(全般事項)

2	医療機関名	砂川市立病院	
3	推薦類型	地域がん診療連携拠点病院	
4	令和6年9月時点指定類型	地域がん診療連携拠点病院	To aid
7 8 9	[記入箇所] 都道府県がん診療連携拠点 地域がん診療連携拠点病院 特定領域がん診療連携拠点 地域がん診療連携拠点	: I (※特定機能病院である場合には、Ⅲにも回答すること。)	【 月 例 】
_			A destroy B .

也域がん診療連携拠点# 特定領域がん診療連携# 也域がん診療病院	院 : II (※特定機能病院である場合には、IIIにも回答すること。) 点病院 : II V : VI		考(左記の記入)	箇所に該当しない部分は回答不要) 所に該当しない部分は回答不要)
針の箇所	要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
地域がん診療連携 1 都道府県協議会	点病院の指定要件について における役割			
	各都連定県の他の拠点病院等と協働して都道府県は議会を設置し、その運営に主体的に参加している。 その際、各が心底疾患におけるが心医疾の質を向上させるため、当該が心医疾患を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道 府県は職会の方針に沿って各が心度疾患におけるが小医疾をが適切に提供されるよう努めている。	A	はい	
2 診療体制 (1) 診療機能				
ア	治療率の授供体制及び標準的治療率の提供 基が国に多いがん(大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、乳がん、前立線がん及び肝・胆・師のがんをいう。以下同じ。)を中心にその他各医療機関が 専門とするがんについて、手術、放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた某学的治療、リハビリテーション及び緩和ケア(以下「薬 学的治療等」という。)を提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる機準的治療(以下「標準的治療」という。)等がん 患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	別紙2に詳細を記載してください。
	・ おいません。	A	はい	別紙3に詳細を記載してください。
	- 「患有とての多族の布温を踏まる、有機即で公総・「場所している。 ・ :治療プロセス全体に関して、患者とともに考えながら方針を決定している。	A A A	はいはい	
ウ	標準治療として複数の診療科が関与する選択肢がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。 がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。	A A	はい	各診療料で日常的に開催している場合は"はい"を選択して
	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス 個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者等を加えた、症例への	A	はい	い。 各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択して
	対応方針を検討するカンファレンス 手術、放射線診断、放射線診断、変物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異に する医師等による、青年形・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器機断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換、共有・検討・確	·	4	・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)
	。 - 腿芽音なためのカンファレンス ・ 脚球性によるカンファレンス - 脚種によるカンファレンス ・ 脚種によるカンファレンス	А	4	・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月) ・別紙4に詳細を記載してください。
	■ Wのカンファレンスを月1回以上開催している。 検討した内容について、診療験に記録の上、関係者間で共有している。 院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や薬剤	A	はい	
オ	師等他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。 保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法(平成29年法律第16号)で定める特定臨床研究または再生医療等の安全	A	はい	別紙19に詳細を記載してください。
② 毛術(性の経保等に関する法律(平成25年法律第65号)に基づき提供される両生医療等の枠組み以外の形では、実施・推奨していない。 保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するが明記すること。 (なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。) 法、放射線療法、薬物療法の提供体制の特容事質	-	なし	
7	新中迅速病理診断が可能な体制を確保している。(なお、当該体制は遠隔病理診断でも可とする。) 新中迅速病理診断を遠隔病理診断で対応依頼することがある。	A -	はい いいえ	
イウ	新後要職体制の一環上して、手術部依頼後に関するサーベイランスを実施している。 厚生労働省院内感染対策サーベイランネ事業(JANIS)へ登録している。 機度要請政対線治療を提供している。	C	はい はい いいえ	
コーニュ	外来での核医学治療(RI内用療法)を提供している。 密封小線源治療について、地域の医療機関と連携し、役割分担している。	C C A	はい	
*	自族設で密封小級銀治療に必要な放射総治療療室を整備している。 専用治療病室を要する核医学治療(和内用療法)や粒子総治療等の高度な放射総治療について、患者に情報提供を行うとともに、必要に応 して適切な養療機関へ紹介する体制を整備している。	_ A	はい	
	RI内用療法に必要な放射線治療病室を整備している。 粒子線治療に必要な放射線治療設備を整備している。	-	いいえ	
) b	関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 202309)	- -	はい 202202 医用原子力技	
	測定機関名を記入すること。	-	術研究振興財 団	
キク	基準線量の±5%の水準以内である。 画像下治療(IVR)を提供している。 免疫間連有害事象を含む有害事象に対して、他診療料や他病院と連携する等して対応している。	C A	はいはい	
(3) 緩和な	薬物療法のレジメンを審査し、結構的に管理する委員会を設置している。 7の建供体制 が心診療に携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回	A	はい	
7	に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、	A	はい	
	接販販から一貫して経時的に行っている。 診断や治療方針の変更時には、ライフステージ、就学・就労、経済状況、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題につい て、患者の希望を踏まえて配慮や支援ができるよう努めている。	A	はい	
ゥ	ア、イを実施するため、がん診療に携わる全ての診療従事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明確 に位置付けられた緩和ケアチームにより、以下を提供するよう体制を整備している。	Α	はい	別紙8に詳細を記載してください。
	定期的に病験ラウンド及びカンフトレスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状緩和について協議し、必要に応じて主体的に助素で指導等を行っている。 (2)の2の71、規定する者護師は、苦痛の把握の支援や専門的無和ケアの提供に関する調整等、外来・病様の者護業務を支援・強化する (2)の2の71、規定する者護師は、苦痛の把握の支援や専門的無和ケアの提供に関する調整等、外来・病様の者護業務を支援・強化する	A	はい	別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
I	接続を担っている。 主治度及び看護際、公認心理師等と協働し、適切な支援を実施している。 最者が必要な疑和ケアを受けられるよう。験和ケアが来の設置などが来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を登備している。	A	はい	別紙5に詳細を記載してください。
	自能設のがA患者に限らず、他施設でがA診療を受けている。または受けていた患者についても受入れを行っている。 護和ケア外来等への患者紹介について、地域の医療機関に対して広報等を行っている。 医療用廃棄等の鎮棄薬の初回使用時や用量の増減物には、医師からの説明とともに薬剤師や看護師等により、外来・病棟を問わず医療用	A	はい	
 	麻薬等を自己管理できるよう指導している。 その際には、自記式の服薬記録を整備活用している。	A	はい	
)	院内の診療従事者と採和ケアチームとの連携を以下により確保している。 緩和ケアチームへが心患者の診療を依頼する手順等、評価された苦痛に対する対応を明確化し、院内の全ての診療従事者に周知するととも に、患者とその家族に緩和ケアに関する診療方針を提示している。	A	はい	
	緩和ケアの提供体制について緩和ケアチームへ情報を集約するために、がん治療を行う病様や外来部門に、緩和ケアチームと各部署をつな ぐ役割を担うリンクナースなどを配置している。	С	はい	リンクナース:医療施設において、各種専門チームや委員会 看護師等をつなぐ役割を持つ看護師をいう。 アドバンス・ケア・プランニング:人生の最終段階の医療・ケア
+	患者や家族に対し、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。	А	はい	いて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し プロセスのこと。
2	アからキにより、緩和ケアの提供がなされる旨を、院内の見やすい場所での掲示や入院時の資料配布、ホームページ上の公開等により、が 人患者及び家族に対しわかりやすく情報提供を行っている。 かかりつけ医等の協力・連携を得て、主治医及び者護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説	A	はい	
7 3 -	明及び指導を行っている。 疾痛緩和のための専門的な治療の提供体制等について、以下の達り頑保している。 環治性疾痛に対する神経ブロック等について、自施設における麻酔性薬等との連携等の対応力針を定めている。	A A A	はいはい	別紙7に詳細を記載してください。
	自施設で実施が困難なために、外部の医療機関と連携して実施する場合には、その詳細な連携体制を確認している。	A	はい	76行目・77行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に い"が選択されます。
	・	- - A	はいはい	
	緩和的放射線治療を患者に提供できる体制を整備している。 自膝底の診療使事者に対し、緩和的放射線治療の院内での連携体制について周知していることに加え、連携する医療機関に対し、患者の受 人丸等について周知している。	A	はい	
#	ホームページ等で、自施設におけるこれらの実施体制等について分かりやすく公表している。 全てのがん患者に対して苦痛の把握と適切な対応がなされるよう緩和ケアに係る診療や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム)、	A	はい	PRO: 自覚症状やQOLに関する対応の評価のために行う患 主組めた数件をキャット頭痛のこと
④ 地域;	探索用麻薬の処方量など、院内の緩和ケアに係る情報を把欄し、接対・改善する場を設置している。 それを踏まえて自施設において結構的な改善策を講じる等、緩和ケアの提供体制の改善に努めている。 後の推進体制	A	はい	主観的な報告をまとめた評価のこと。
7	がん患者の紹介、逆紹介に積極的に取り組むとともに、以下の体制を整備している。 ・緩和ケアの提供に関して、当該が人医療圏内の緩和ケア病権や在空緩和ケアが提供できる診療所等のマップやリストを作成する等、患者や	A	はい	
	子の京集に対し第二地域の類和ケア提供体制について情報提供できる体制を参唱している。 参力がAに関いて、専門家による適切な集学的治療が提供されるよう、他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができ る体制を整備している。	Α	はい	
	高齢のがん患者や障害を持つがん患者について、患者や家族の意思決定支援の体制を整え、地域の医療機関との連携等を図り総合的に 支援している。 ・ 小食膳館に入居する高齢者ががんた診断された場合に、介護服役等と治療・提和ケア・看取り等に対し速携する体制を整備している。 ・ 地域内液疾機関の薬師と認めている時間では、対している。	A	はい	
· ·	地域の麼機機関の医院と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備している。 当該が人医機関内のが人診療に関する情報を集約し、当該が人医機関内の医機関やが人患者等に対し、情報提供を行っている。 が人患者に対して、関係第の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併定対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯 が人患者に対して、関係第の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併定対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯	A	はい	Third and the second se
I ±	科医師と連携して対応している。 地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内	A	はい	別紙29に詳細を記載してください。
ъ	での最和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を登価している。 退院支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により疲養場所等に関する意思決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在 宅診修に使わる医筋や訪問者援助等と过度前カンファレンスを実施している。	A	はい	
+	当該が小医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩 卵ケアについて情報を共有し、役割分组や支援等について検討する場を年1回以上設けている。 緩和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に進絡・相談を受ける体制を確保し、	A	はい	
1 1 1 1	(数化) アナームが急吸の医療機関や生生療を支援診療が考から足利的に進程・情感を受ける体制を保険したがある。 必要に応じて助き書を行っている。 都道府果や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。	A	はい	ピア・サポート: 患者・経験者やその家族がピア(仲間)として
2	・ オピニオンに関する体制 		はい	共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。
⑤ セカン		A	121,	İ
	オンを受けられることについて説明している。 説明の際、心理的な障壁を取り除くことができるよう留意している。	A	はい	
(5) セカン ア	オンを受けられることについて説明している。 説明の際、心理的な理學を取り除くことができるよう管意している。 説明の際、心理的な理學を取り除くことができるよう管意している。 当該施設で対応可能ながんについて、手が危法、教材線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師により セカンドオビニオンを提示する体験を整備し、最近しかいやすく必要している。 セカンドオビニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している。 れの特性に応じた砂糖素の提供体が	A A C	はい 9 はい いいえ	

5 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指針の箇	所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
105		7	希少がん・難治がんの患者の診断・治療に関しては、積極的に都道府県協議会における役割分担の整理を活用し、対応可能な施設への紹 介やコンサルテーションで対応している。	Α	はい	
106		1	小児がん患者で長期フォローアップ中の患者については、小児がん拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。 タ・地域のがよった肺医療ネットワークに加え、「小児・ハンムサザのがく、患者等のはみ性温方療は研究促進事業」へ参画するととまた。対象	A	はい	
107		ゥ	となりろも基本や家族には必ず、治療開始前に情報提供している。 患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療料が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、好孕性温存療	Α .	はい	
108			法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。 自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・音成に努めている。	A	はい	別紙10に詳細を記載してください。
						好孕性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子だけではなく、性機能や生殖器、内分泌機能も重要な要素である。
110		I	就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援センターで対応できる体制を整備している。	Α	はい	アピアランスケア: 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外 見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減
111			それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。	С	いいえ	するケアのこと。 別紙10に詳細を記載してください。
112			一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数 (尚、AYA世代支援チームに在籍する者に限らない)	-	0	
113		オ	高齢者のが小に関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保している。 意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。	A A	はい	
115 116		b	高齢のがん患者に関して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている。 医療機関としてのBCPを策定している。	- B	はい	別紙10に詳細を記載してください。
117 118	(2) 診	療従事者 ① 専門的な		よ不可です。		
						常勤: 原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をい う。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合
119		7	当該施設で対応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる常勤の医師の人数	Α	38	は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とす る。
HI						※一人以上の配置が必要です。 専任:専任とは当該診療の実施を専ら担当していることをいう。こ
120		1	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	Α	1	の場合において、「専ら担当している」とは、その他診療を兼任して いても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも
						5割以上、当該診療に従事している必要があるものとする。 ※一人以上の配置が必要です。
404		_		_		専従: 専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら従事 していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、
121		ゥ	専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	Α	1	その就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に従事していることをいう。
122		I	専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
123 124		オ	緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている、専従の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数	A C	0	※一人以上の配置が必要です。
125			緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師のうち、 緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数	c	0	W. 1.11.1.0.278 15 N.T
126 127			緩和ケアチームに配置されている。精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている。専任の精神症状の緩和に挟わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	C	1	※一人以上の配置が必要です。
128 129		カキの動物が	事徒の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 リハゼリテーションに振わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数 知識及び技能を有する医師以外の診察後事者の配置	A C	1	※一人以上の配置が必要です。
130		ア 専門的な	対職級びV技能を有する医師以外の診療従事者の配置 放射総治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の診療放射線技師の人数	В	1	※二人以上の配置が望ましい(*)。少なくとも一人の配置は必要
132			上記の診療放射線技師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数	С	1	C9.e.
133			専従の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の技術 者等の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。
134			上記の技術者のうち、医学物理学に関する専門資格を有する者の人数 放射線治療部門に配置されている、専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常識の看護師の人数	A	0 1	※一人以上の配置が必要です。
136 137		1	上記の看護師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数	C A	3	※一人以上の配置が必要です。
138 139 140			上記の業務師のうち、がん業物療法に関する専門資格を有する者の人数 外来化学療法室に配置されている、専役の薬物療法に携わる専門的な知識及び状態を有する素別の看護師の名 上記の看護師のうち、がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	A	6 2	※一人以上の配置が必要です。
141		ゥ	上記の看護師のうち、かん看護とはかん楽物療法に関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに配置されている、事従の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常動の看護師の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。
141 142 143 144		I	上部の単独の地域では、 銀和ケアチームに配置されている。専奨の緩和ケアに接わる専門の地域と対策を表する素別の電視的人数 上記の者機能のうち、がん看接又は減むケアに関する専門資格を有する者のの一般であり、 上記の者機能のうち、がん看接又は減むケアに関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに配置されている。緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する表面が最新師の人数 に配置されている。緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する表面がある。 上記の裏前師の入数 上記の裏前師のうち、緩和薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	A	3	※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
145			正配の乗利師のフラ、後和集刑限法と同じ、 緩和ケアチームに配置されている。相談支援に携わる専門的な知識及び技能を考する者の人数 上記工の相談支援に携わる専門的な知識及び技能を考する者の人数 上記工の相談支援に携わる者のうち、社会福祉士である者の人数	A	2	※一人以上の配置が必要です。
146 147			上記この相談を譲じ張わら者のうち。な業権権工である者の人数 上記この相談を接に携わる者のうち。精神保健権祉士である者の人数 緩和ケアチームに協力する、公認心理師等の医療心理に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数	C C	0	
148 149 150		<i>t</i>	オの医療心理に携わる者のうち、公認心理師である者の人数	B -	1	
151 152		h	専任の細胞診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数 上記の診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数	C A	4	※一人以上の配置が必要です。
153		+	がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人数 がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士の人数	C	11 8	
154 155		- 01	がんのリハビリテーションに係る単発に使わる専門の女知識およびは影を有する哲学療法士の人教 がんのリハビリテーションに係る単純に関わる専門的な知識およびは指定者有する作業療法士の人教 がんのリハビリテーションに第る単純に関わる専門的な知識法とは指定者有する作業療法士の人教 がんのリハビリテーションに第2番乗に関わる専門的な知識法とは技能を有する情報を述る人教	C C	1	
156 157	(3) €	の他の環境	電空舗寺 □ 世者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している。	С	いいえ	別紙9に詳細を記載してください。
158	G	2)	集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認 できる環境を整備している。 その冊子や視聴覚教材等はオンラインでも確認できる。	Α	はい	
160	G	3)	がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアビアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を	C A	いいえ はい	
161		4)	整備している。 が必要者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
162 163			対応方法や関係機関との連携について、関係職種に情報共有を行う体制を模型している。 自集設に精神料、心療内科等がある。 自施設でが心患者の自殺リスクに対応できる。	A	はい いいえ	
165			目施設でかる患者の目殺リスクに対応できる。 自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	A	はい	自施設に精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合も回答
166	診療実(1)	綾				してください。
167 170	_		同一のがん医療圏内にすでに指定されているがん診療連携拠点病院が存在している。 院内がん登録数	Α	いいえ	計上方法:入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区分20
172	(ア	(基準:年間500件以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	Α	561	計上方法:医科診療報酬点数表第2章第10部に掲げる悪性腫瘍
173		1	悪性腫瘍の手術件数 (基準:年間400件以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	Α	285	計工力法・医性診療報酬点数数第2章第76部に関わる志に延續 手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認された場合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。
174		†	がんに係る薬物療法のべ患者数	А	1683	計上方法:経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とする。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数につ
H I		Ĺ	(基準:年間1,000人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	_ ^	1000	る。ににい内方を依法年供の場合は含めない。なる、思有数にフ いては1レジメンあたりを1人として計上する。
175			うち、外来化学療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	1137	
$H \mid$						計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療に含ま
176		I	放射線治療のべ患者数 (基準:年間200人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	Α	135	れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については 複数部が照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人として
177		*	機和ケアチームの新規介入患者数 (対策・原理で しょ) ト 1998 全者を存在することは日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	Α	148	計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数回介
179	G	2	(基準:年間50人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日) 当該がん医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合(%)	A	47.0	入しても1人として計上する。 石順シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。
186			3(1)①または②を概ね満たすこと。		はい	「①を概ね満たすこと」については、「アからオのそれぞれの9割以上であること」と定義され、「②を概ね満たすこと」については、当該が4年度の国に足仕するが4、単表のうち「1994以上の診察事業が
100			なお、同一がん医療圏に複数の地域拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。	A	18.01	がん医療圏に居住するがん患者のうち、「18%以上の診療実績が あること」と定義されている。なお、同一がん医療圏に複数の地域 拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。
187 188	人材育	成等	 直施設において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	A	1+1.	30 m m / (原光 18 ル 9
189 190	(1)		特に、診療の質を高めるために必要な、各種学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。	A	はいはい	
191	(2)		広告可能な資格を有する者のが心診療への配置状況について積極的に公表している。 病院戻は、自施設においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医 修案分析との専門性太上心に全種できる体制を整備している。	A	はい	
192	(3)		師等がその専門性を十分に発揮できる体制と整備している。 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の 別添)に準拠し、当該がA医療圏においてがん診察に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道保房と協議の上、開催してい	A	はい	
\vdash	(3)		る。 自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する			
193			日 自然などに、35から自然は17周末でも暗水がからなど、下が上自地は17月間で、3007の27以に、5577からか、日午にかか、日本のからとか)する 快能を整備している。 受講率を現況報告において以下の通り報告する。	A A	はい	
195 196			令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数 うち当該研修会修了者数	-	12	
197			プラニ版が序名だり TAX 受譲率(%) 「1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く)		75.0% 62	
199 200			うち当該研修会修了者数 受講率(%)	-	45 72.6%	
201			医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促している。	A	はい	
203	(4)		研修格で者について、患者とその実施に対してかかりやすぐ情報担保している。 連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講動奨を行っている。 (3)のほか、当該が仏医振瀾において腕の見える関係性を構築し、が仏医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研	Α	はい	
204	(5)		後やカンファレスを定期的に開催している。 自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供してい	Α .	はい	
205	(6)		日本語の必要が成分では、アイルスの日本が企業、アイルのでは、アイルのでは、アイルのでは、日本語のでは、アイルので	A C	はい いいえ	
207			日本版の3000000000000000000000000000000000000	-	1	
208			令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-	両立支援	
	(7)		院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。	A	はい	
210			令和5年1月1日~12月31日の開催回数	-	緩和テクニカ	
211			令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-	ルコース	
212 213	(8)		他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に参加させている。 医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。	A A	はい	
214	相談支	接及び情報	段の収集提供			

6 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指針	⊦の箇所	要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
215	(1) がん相談支援	センター			
216		相談支援を行う機能を有する部門(がん相談支援センター)を設置し、①から⑧の体制を確保した上で、がん患者や家族等が持つ医療や療養等の課題に関して、病院を挙げて全人的な相談支援を行っている。	Α .	はい	別紙11に詳細を記載してください。
217		必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を母国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。	A A	はい	
219	①	情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している 国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1	- A	いいえ はい	別紙13に詳細を記載してください。
221		人ずつ配置している。 がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従の相談支援に携わる者の人数	A	1	別様におします物を記載してください。
222		がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専任の相談支援に携わる者の人数	Α	1	上記の専従の者は含めないでください。 (専任であり、かつ専従でない者の人数を記載ください。)
223		当該相談支援に携わる者のうち1名は、社会福祉士である。 がよ知識支援センター知識量其礎研修(1)~(3)を修了した専従もしくは専任の知識支援に進わる者のうち、社会福祉士の人数	C	はい	一人以上配置されていることが望ましい
225	(2)	がん相談支援センター相談自基礎研修(1) ~ (3) を修了した事従もしく比単任の相談支援に推りる者のうち、社会経社士の人数 相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、が人相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めてあ 院内及び地域の診療使革者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の仕良及び後療機関等からの相談等に対応する体	A	はい	
226	3	制を整備している。	A	はい	別紙12に詳細を記載してください。
228	4	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に精神的に取り組んでいる。 がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。 地域では、2008年度によった自動によるという。	A A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
229	7	外来初診等から治療開除までを目倒に、が小患者及びその家族が必ず一度はが、相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制を奪儘している。 治療に魔えた事前の面談や準備のフローに緩み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう	В	はい	別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
230	1	繰り返し案内を行っている。	A	はい	
231	ウェ	膀内の見やすい場所にが人相談支援センターについて分かりやすく掲示している。 地域の住民や医療・在宅・介護指統等の関係機関に対し、が人相談支援センターに関する広観を行っている。 自治設で温機といてない者からの相談にも対応している。	A A	はい	
233	7	がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。	A A	はい	
235	(5)	がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。 フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。	A A	はい	
237	6	患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準じる者が統括するなど、がん相 珍支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備している。	Α	はい	
238	7	がん相談支援センターの相談支援に携わる者は、NO2の(4)に規定する当該都道府県にある都道府県拠点病院が実施する相談支援に携わる者を対象とした研修を受講している。	Α	はい	
239	8	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けている。 その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。	A A	はい	
240 241 242	(2) 院内がん登録	オンライン環境でも開催できる。	С	いいえ	
243	1	がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成 27年厚生労働省告示第470号)に即して院内がん登録を実施している。	Α	はい	
244 245	2	21 十月 エス 期間 ロルカイロケットのいった (成内が)が、夏 球と大阪にしている。 国立がん研究センターが実施する研修で中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数	A	はい	別紙16に詳細を記載してください。
246	3	毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	Ä	はい	
246 247 248 249	(3) 情報提供・普及	院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施するがん対策等に必要な情報を提供している。 な優秀。	A .	はい	
250	(1)	自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援(妊孕性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる	A	はい	
251		場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。 希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。		はい	
252		提供できる治療・支援の内容を広報している。 小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A -	はい	
253 254 255 256 257 258 259		提供できる治療・支援の内容を広報している。 AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A -	はい	
256 257		提供できる治療・支援の内容を広報している。 妊卒性温存療法を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A	はい	
258		女子に無いては、近天で自然などしいは無性が、ものなく、いかり、一年で使いている。 提供できる治療、支援の内容を広報している。 がんゲノム医療への治療及び支援を自能設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A	はい	
260 261		3/00/1/エロット では、 1/00/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	A	はい	
262	2	人 放使火き 下砂米油 少高174 と により目成り砂を飲んだ。 製 化が生した場合 によ、 後 下がに旧報ご 畑 ぞうるよう知の じいる。 当該が 人 医療圏内の が 人 診療に 関する情報について、 病院ホームページ等でわかりやさ (広報している。 特に、 表が 圏に多いが (人の中で、 自施設で対応しない 診療内容について の連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて 地	A	はい	
263		域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。	Α	はい	
264 265	3	地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。 地域を対象として実施した、がんに関するセミナー等の開催回数(総数)	A -	はい 2	地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
266 267	(4) (5)	参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。 患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な	A A	はい	別紙17に詳細を記載してください。
268	6	医療機関に紹介している。 がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正し		はい	別称1/1~6千物で記載してください。
_		い知識の普及啓発に努めている。 がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を	Α .		
269 270	6 臨床研究及び調査	行っている。	A	はい	
271 272	(1)	政策的公表衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。	A	はい	別紙18に記載してください。
273	(2)	治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。			新級(IOC 配盤して)/2015。 委託も可
274 275		治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究ユーディネーターを配置している。	A	はい	274が"はい"の場合は要件区分がAになります。
276		臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数 治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。	A	1	
278 279		治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究法に則った体制を整備している。	- A	はい	278が"はい"の場合は要件区分がAになります。
280 281	7 医療の質の改善の		A	はい	
282	(1)	自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内 の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。	Α	はい	
283 284	(2)	その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。	A A	はい	別紙20に詳細を記載してください。
285	(3)	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	Α	はい	別紙20に詳細を記載してください。 日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。
286		第三者の名称	_	日本医療機能 評価機構 病	別紙20に詳細を記載してください。
287		直近で評価を受けたタイミング (YYYY/MM、例: 202309)	_	院機能評価	別紙20に詳細を記載してください。
288	8 グループ指定	<u>■ は、計画と受けたプランプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		202011	が表といっます場合とも大心といっ
289		たる状態が映画におけるがん診療等の提供体制を確保すること。 地域が人診療病院とのグルーブ指定を受けている。		1117	別紙27に詳細を記載してください。
291 292	(1)	地域的の必然を持続されています。 連携協力により手術療法、放射線療法、薬物療法を提供する体制を整備している。 機能体は実施されて提供する体制を整備している。	-	0.0.7	が私とハー計論と記載してくたさい。
293 294	(2)	連接協力により手術度法、放射線療法、薬物療法を提供する体制を整備している。 標準的な薬物療法を提供するためのレジメンの審査等に対しる実施でしている。 確実と連携体験性機関するためのレジメンの審査等に対しる実施でしている。	-		
295	(5)	連携協力により相談文法や級礼ゲアを允美させる体制を整備している。 診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。	-		
296 297	(6) (7)	診療機能確保のための診療情報の共有体制を整備している。 病院ホームページ、パンフレット等による連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実繕等についてわかりやすく広報している。			
298 Ⅲ	特定機能病院を地域が、	ん珍族連携拠点病院として指定する場合の指定要件について 医療法第4条の2に基づく特定機能病院を地域拠点病院として指定する場合には、当該医療機関はⅡの地域拠点病院の指定要件に加え、			
299		医療法系4束の2に基づく物定機能開院を地攻委品別院としく指定する場合には、自該医療機関は ロル地攻委品別院の指定安件に加え、 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に積極的に取り組み、その観点から都道府県協議会にも積極的に参画す ること。			
300		もして。 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に積落的に取り組んでいる。 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に関する観点を登録に、都造府県協議会に積極的に参加している。			
301 302 IV	都道府県がん診療連携	拠点病院の指定要件について	_		
303 304	1 都道府県における (1)	参療機能強化に向けた要件 当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施している。	-		
305	(2)	当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看掲師等を対象とした研修を実施している。 当該都道府県の拠点病院等及び地域におけるがん医療を担う者に対し、情報提供、症例相談及び診療支援を行っている。	-		・別紙28に詳細を記載してください、
306	(3)	都道府県協議会の事務局として、主体的に協議会運営を行っている。	-		が別述ないます。 ・別添資料で、都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容が わかる資料を添付してください。
307 308	2 都道府県におけて	都道府県協議会の開催回数(期間:令和5年4月1日~令和6年3月31日) 目談支援機能強化に向けた要件			
309	(1)	自放文技機能強化に同りバタサイ 相談支援業務として、都道府県内の医療機関で実施されるがんに関する臨床試験について情報提供に努めている。 がん相談支援をシターに国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従の相談支援に携わる	-		
310	(2)	者を2人以上配置している。	-		別紙13に詳細を記載してください。
311 312		相談支援に携わる者のうち、少なくとも1人は国立がん研究センターによる相談員指導者研修を修了している。 相談支援に携わる者のうち、国立が人研究センターによる相談責指導者研修を修了している者の人数 対象 知念時から、近極関節もである日本に、が、単常なくるであるが、またが、4人が大きによった。また時になず、1月はかた時間を持ち			一人以上配置が必要
313	(3)	外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も会さ)することができる体制を整備している。 緩和ケアセンターとの連携を聞り、がん患者とその家族に対して、緩和ケアに関する高次の相談支援を提供する体制を確保している。	-		別紙13に詳細を記載してください。
314 315	(4)	当該都道府県の拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行っている。	-		
316	3 都追附県拠点病院	の診療機能強化に向けた要件 当該都道府県における緩和ケア提供体制の中心として、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病株等を有機的に統合する緩和ケアセン ターを整備し、当該緩和ケアセンターを組織上明確に位置づけている。(緩和ケアセンターは、緩和ケアチームが主体となり以下の活動を行			
317	(1)	1、 事門的經和ケアを提供する院内拠占組織とする)	-		別紙21に詳細を記載してください。
318 319	①	がん看護に関する専門資格を有する看護師等による定期的ながん患者カウンセリングを行っている。 看護カンファレンスを週1回程度開催し、患者とその家族の苦痛に関する情報を外来や病棟看護師等と共有している。	=		
320	3	業忌穢和ケア病床を催保し、かかりつけ患者や連携協力リストを作成した在毛療養支援診療所等からの紹介患者を対象として、緊急人院体 制を整備している。	-		
321	4	地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病療等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレン スを月1回程度定期的に開催している。	-		
322	(5)	バミカー I matag を がいた かい	-		
323	6	接所をプレス・ジャンターは、都道府県と協力する等により、都道府県内の各拠点病院等が、緩和ケア提供体制の質的な向上や、地域単位の緩和ケアに関する取組について検討できるように、支援を行っている。	-		
324	9	緩和ケアセンターには、Ⅱの2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの医師に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する医師を配 置している	-		
325 326	7	 銀和ケアセンターの機能を統括する医師を緩和ケアセンター長として1人配置している。 半数度第二ついては、参軸であり、かつ、除内に対いて施頭め立場の確認できる。			
326	1	緩和ケアセンターの撮影を終終する医師を規則ケアセンター長して1人配置している。 当該医師については、常郎でおり、かつ、院内において世帯的立準の影響である。 緊急緩和ケア病床を担当する専門的な知識及び技能を有する常数の医師を1人以上配置している。	-		
328		(なお、IIの2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの原師との兼任を可とする。) 当該原師については、夜間は日等も必要時には主治療とが直接当療と連絡を取ることができる体制を整備している。 第8日をアメル・には、IIのの②ののののからように増生さる場合のアメールの構造は「サラマ、以下の専門的な知識を打ち始まする	-		
329	8	緩和ケアセンターには、Ⅱの2の(2)の②のつからオに規定する緩和ケアチームの構成員に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する 医節以外の診療従事者を配置している。	-		
330	ア	緩和ケアセンターの機能を管理・調整する、専従のジェネラルマネージャーを配置している。	-		

7 / 44 ページ 様式4(機能別)

### 1995 1995	1 指針の箇所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備者欄
The control of the	31		ジェネラルマネージャーは、常勤であり、かつ院内において管理的立場にある看護師である。	-	日時点の状況	and Go tree
### 1985年 1987年	32	7	当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者である。 アに規定するジェネラルマネージャーとは別に、専従かつ常動の看護師を2人以上配置している。	-		
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	34		当該看護師はかん看護に関する専門資格を有する者である。 (また、当該看護師はTの2の(2)の②のウに規定する看護師との事件を可とする。)	-		
### 1995 Part	35	ゥ	場合に自動を直接できまっている。 場和ケアセンターの業務に協力する薬剤師を配置している。			
### 1982 - 198	36		(また、当該薬剤師はIIの2の(2)の②のエに規定する薬剤師との兼任を可とする。)	-		
### 1997年	37	I		-		
### 1985年	-		ことを可とする。)			
### 1997年	38	オ		-		
### 1995	39 V 特定領域: 40 1	がん診療連携	拠点病院の指定要件について 特定のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有している。	-		別紙22に詳細を記載してください。
### 1997 (1997)	4.					
10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1	41			-		
1	42 43		標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 ・ 当該がんについて当該製造存用力で最も多くの事業を診察している。			
### 100				-		12~290に関して、区分Aの要件に未充足がない場合に"はい"を
### 1997年				-		選択してください。 別紙23に詳細を記載してください。
### 1985	46 4		特定領域における高い診療技術や知識を共有する観点から、拠点病院等との人材交流、合同のカンファレンス、診療業務や相談支援業務に	-		
### 1997			定要件について			
	48 49 1 都道》	村県協議会に	おける役割 各都道府県の他の拠点病院等と協働して都道府県協議会を設置し、その運営に主体的に参画すること。	-		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	50		その際、各が人医療圏におけるが人医療の質を向上させるため、当該が人医療圏を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道 応見が禁令の古針に入って多が人医療関におけるが人医療が発力に担供されるようなのよう。	-		
************************************	51 2 診療		WANTED STANDING TO STAND TO STAND TO STAND THE STANDING S			
### 1995	53					
	54	ア	我が国に多いがんを中心として、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携して集学的治療等を提供する体制を有するとともに、 標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	-		別紙25に詳細を記載してください。
Table	55	1	確実な連携体制を確保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と定期的な合同のカンファレンスを開催している。	-		
### 1997 (1997) (1997	57		路即からの診断検集、汚衣の説明時や治療力針の決定時上は、以下の体制を発揮している。 患者とその家族の希望を踏まえ、看護師や公認心理師等が同席している。			
### 1997 (1997) (1997	59	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	治療プロセス全体に関して、患者とともに考えながら方針を決定している。 標準治療として複数の診療科が関与する選択時がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。			
************************************	30	Ι	診療機能確保のための支援等に関し、グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院との人材交流計画を策定・実行している。			別紙26に詳細を記載してください。
で、一点の基本を受けられたが必要がある。	61		等に努めている。	-		別紙3に詳細を記載してください。
### 1985 (1997) 1997 (1998)	32		がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。			久診査到で口管的に開催している場合は"はい"す ※和してない
「大きなでは、1997年である。	63	i	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス	-		で 100 水中 でロ 吊りに 用催している場合は "はい"を選択してください。
### 1	34	ii	個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者などを加えた、症例への対応、方針を捻討するか、ファレンス	-		- *** 各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してくださ い
1	-		手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異に			υ· ₀
### 1985年の1985年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	65	iii	する医師等による、骨転移・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器横断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確	-		・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)
1	66	iv	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職	-		
# 2	67		種によるカンファレンス Ⅳ のカンファレンスを定期的に開催している。			・別紙4に詳細を記載してください。
# 2	68	<u> </u>	検討した内容について、診療験に記録の上、関係者間で共有している。	-		
### (新聞の) 「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	69	カ	院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サホートチーム、恋染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や染剤 師等、他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。	-		別紙19に詳細を記載してください。
	70		保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法で定める特定臨床研究または再生医療等の安全性の確保等に関する法	-		
□ 中国	71		保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。			
東中のから東京のは、東京の大きの中央の大きの大きのできまたが、かった。東京のイン・一方であるというの人の企業を表現していません。 マングでは、大きいの人は、ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・			(なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。)	-		
### 18 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		② 手術療法				
### 2004年記載102-2022年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	73		特に以下に対応すること。			
であり、動き物質を含め、ことに、香味品は高級性では、「なった」という。 東京の自動を対していまった。「一般の自動を対していまった」 「日本の自動を対していまった」 「日本	74	ア	供できる体制を整備している。	-		
② 関連管理技術の一般に大、手供を認識を対している。「から、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	75	1	グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより術中迅速病理診断を提供できる体制を整備している。	-		
***	76		術中迅速病理診断を遠隔病理診断で対応依頼することがある。	-		
### 2007日 3月1日 OVT たかが出るのの様の目間であるも今に、グリープ語を受けるい。中国 は では できません できまった こというな	77					
### 2017年の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の	/8	ゥ	術後常理体制の一環として、主術部位際梁に関するサーベイランスを実施している。 その際 厘生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。			
### 2007年のアイバックインとも考生、第15条機能による心力を整定を行い、機能能力の高度需要を行っている。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で表別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育を表別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育により、またが、	78 79		その際、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放	-		380行目・381行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"に
### 1000-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00	79 80		その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材記画のあため放射経済の保援が行困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 - 自族設で放射線治療を提供している。			
度の実施した最近を表現した。	79 80 81	Ι	その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入村配置のあため放射結構を原理扱が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。
### 第2章 ### 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	79 80	Ι	その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入村配置のあため放射結構を原理扱が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
の	79 80 81 82 83	Ι	その際、原生労働省施内保登対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材配置のあため放射等が機の保援が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 労ループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 ■リニアックアーのLT (※自修数字主集)でいる場合のない。	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
カーカルできたと発生、でいるが、参加の高速のである。	79 80 81 82 83 84	Ι	その際、原生労働省施内機と対策サーベイランス事業(JANIS)、合着は、Tいる、 設備さ入材配置のあため設特等が機の規模が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射接治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で乗除し、Tいる場合のた)。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 202209)			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
東京の大学の東京を大きな大きを表していまった。	79 80 81 82 83 84	Ι	その際、原生労働名館内限を対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備と入材配置のあため数特勢なの提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 就検治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 側連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ)	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
② 19 1年 日本の主席は、1.5 (19 1年) 「日本の主席を担いている。 「日本の主席を担いている。 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。」 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。」 「日本の主席を記し	79 80 81 82 83 84	т *	その際、原生等単名協内保登対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入材配置のあから数時制を機の関係が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 財績治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 がループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
アメリン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	79 880 881 882 833 844 85 866	エ オ カ キ	その際、原生等単名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入材配置のあから放射等は務め原理所が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 対検治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
	79 80 81 81 82 82 83 83 84 84 85 86 87 7 88 88 89	ェ オ カ キ ク	その際、原生等単名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入村配置のあから放け締み機の保険が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 財税治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で業施している場合のか)。 直述で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
### 1985年の一月1、日本的に対している。一つ、他一名の、語子が見、音楽との関係性等、が必要とその実施にとて言葉を問題につい て、最近の影子を建まて記念が必要ができたも知った。「 「「、最近の影子を建まて記念ができたがら、がいき間に関わらなくの影響に考した。」 「「、最近の影子を建まて記念が必要ができたも知られている。」 「「、最近の影子を建まて記念ができたがら、がいき間に関わらなくの影響に表している。」 「「、「「、最近の影子のアンドラグア・ファイン・アンドリス・	779 90 81 81 82 83 84 84 85 86 87 87 88 88 89	エ オ カ キ ク 3 緩和ケア	その際、原生労働名院内院会対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や人材配置のあため放射的液の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ) ・ 選述で実施した第三者機関による出力経量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 202309) ・ 測定機関名を記入すること。 基準経費の±5%の水準以内である。 外来化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 免疫関連者事事を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。 ・ 公理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
・ 「一般で対象を変形している。この主ないとなった。この主ないという。 「一般では、100mmのでは、100m	779 90 81 81 82 83 84 84 85 86 87 87 88 88 89	エ オ カ キ ク 3 緩和ケア ア	その際、原生労働名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入村配置のあため放射的液の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のか) ・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
□ 7 「・ (* 大き乗事 もたか。 が、 いか	779 80 81 81 82 83 84 85 86 87 88 88 89 90	カ キ ク (3) 緩和ケア ア	その際、原生労働名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材配置のあため設特等は務の原授が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のか)。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソソソソ/MM、例:202309) 測定機関を記入すること。 サ来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 基準接置の±5%の水準以内である。 外条化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 条佐岡連者管事象を含む名音享事品に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。 条佐岡連者管事象を含む名音享事品に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。 条佐岡連者管事象を含む名音享事場に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。 ※佐田連子管理なるがん診療連携機あ病病院との関係におり、実施療法のレジルと参議するととい、標準的な薬物療法を提供できる体制を発している。 ※佐田連子を受けるがん診療連携系法の保険の場所におり、実施療法のレジルと参議するととして、標準的な薬物療法を提供できる体制の経過におり、必定とは、100円では、100円	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
1	79 80 81 81 82 82 83 83 84 84 85 86 87 7 88 88 89	エ オ オ ク ③ 臓和ケア ア イ	その際、原生等機を施内機と対電サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 製作人材配置のあから数料的表の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。 自指程で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自飾院で実施している操会のか)。 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 ・ 基準練蕾の主ち味の水準以内である。 ・ 基準接着の主ち味の水準以内である。 ・ 大水化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ クループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を使用している。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行っている。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行るが必診療選集機は有限との連携に対し、策物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を含しているの理解に繋が、必要と対象が必要が対象が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	79 90 81 82 83 84 84 85 86 87 88 88 89 90 91	エ オ オ ク ③ 臓和ケア ア イ	その際、原生等機を施内機と対電サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 製作人材配置のあから数料的表の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。 自指程で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自飾院で実施している操会のか)。 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 ・ 基準練蕾の主ち味の水準以内である。 ・ 基準接着の主ち味の水準以内である。 ・ 大水化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ クループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を使用している。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行っている。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行るが必診療選集機は有限との連携に対し、策物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を含しているの理解に繋が、必要と対象が必要が対象が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。
議議という。	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 99 99 99 91 92 92 93 93 94 94	エ オ オ ク ③ 臓和ケア ア イ	その際、原生労働名院内侵受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。 設備さ入村配置のあため設特等は務の原現所が開催するも場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが必要連携が高いた。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で実施しているは会のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で実施している場合のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例: 202309) 測定機関を犯入すること。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 なら機能連携を要素と含むて着等事象に対して、物態を持むや値間限と循環する等して対応している。 のを関連者書事をと含む有害事象に対して、地部設料や値間限と循環する等して対応している。 なら機能と指導するが必定を提供している。 なら機能と対している。 なら機能と対して対している。 なると対している。 なると対したが表しまでは、まましている。 なると述している。 なるともに、環中的な実施となど関係について、人を実施するとよりに対象があるとともに、環境が全体接触と関係に立めらに対象を対象がとともに、適切ななど機能と関係にないが、人がある性に対象もなどもに対象があるとともに、通りなななに対象を使用でついる。 は関係に対象がよりに対象があるとともに、適切ななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を使用でいる。 なるがは、は対象に対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象がある。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。
また、生治療及が重複像・分配と連絡性を一般でした。	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 88 89 99 90 91 92 93 93 94 94 95 5	ま オ カ キ ク (3) 臓和ケア イ	その際、原生労働名院内侵受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。 設備さ入村配置のあため設特等は務の原現所が開催するも場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが必要連携が高いた。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で実施しているは会のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で実施している場合のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例: 202309) 測定機関を犯入すること。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 本準機量の±5%の水準以内である。 なら機能連携を要素と含むて着等事象に対して、物態を持むや値間限と循環する等して対応している。 のを関連者書事をと含む有害事象に対して、地部設料や値間限と循環する等して対応している。 なら機能と指導するが必定を提供している。 なら機能と対している。 なら機能と対して対している。 なると対している。 なると対したが表しまでは、まましている。 なると述している。 なるともに、環中的な実施となど関係について、人を実施するとよりに対象があるとともに、環境が全体接触と関係に立めらに対象を対象がとともに、適切ななど機能と関係にないが、人がある性に対象もなどもに対象があるとともに、通りなななに対象を使用でついる。 は関係に対象がよりに対象があるとともに、適切ななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を使用でいる。 なるがは、は対象に対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象があるとともに、通りなななな経験を提出でいる。 なるがは、は対象をは対象がある。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" かいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
### 18 日本日本美年の日本美化の日本日本での日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 99 90 91 1 922 933 94 95 96 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86	エ オ カ <u>キ</u> ク 緩和ケア ア イ	その際、原生等単名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 「歴帝人材配置のあから放け結び機の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射接近療を提供できる体制を整備すること。 「加ープ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。 「加ープ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することは、少ループ指定を受けるが、診療連携と連携することにより放射能治療を提供している。 「カループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 「リニアックについて(※自飾設て実施している機会のか)。 東道で実施している。 「東京で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 「メースを開きまた。」 「本生機管のようちゃの水準以内である。 本生機管のようちゃの水準以内である。 本生機管のようちゃの水準以内である。 本生機管のようちゃの水準以内である。 な展開選者事業を含む者重要象に対して、船が廃料や他局院と連携する事にプロしている。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を優別に対している。 の提供権制がな必要がある。 がした者のより表が、診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を受している。 の提供権制がな必要がある。 がした者のより表が、診療連携型に対している。 の提供権制がな必要がある。 がした者のより表がは、といるのは影響の把握及びそれらに対する適切な対応を、 診断されたり、変更がにより、アンステーン、数字・数分、投資水及、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題について、最近の影響と選集人で国施と変しまれて、ことのより表が出来る。 「おります」といて、ことのよりまで、といる対応能力を向しませることが必要であり、これを支援するために組織上明確に対象があるともに、適切な症状臓和についには異している。 に対象がカンデンとなりなアンファンンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状臓和についには異しているとは認定してはないのは、苦痛の に対象がするたけ、表が多で対象があるとは、一般を受けていないが、患者も含めて苦痛の に対象がするとも、ことをでは変している。 「というなどのアンアンとともに、適切な症状臓和についには異しているとにには、ことが、自然を受けていないが、必要を持ていなが、必要を持ているともに、適切な症状臓和についには関心をしては変しないが、ことをでは変しないるが、と述り、ことをでは変している。 「というなどのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのでは	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" かいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
### 18 日本日本美年の日本美化の日本日本での日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 88 89 99 90 91 92 93 93 94 94 95 5	エ オ オ ク (3) 緩和ケア イ	その際、原生等機を強肉を発育を、	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ オ ク (3) 緩和ケア イ	その際、原生等機を強肉を発育を、	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
### (***)	79 90 90 90 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91	エ オ カ キ ク ア イ ウ	その際、厘字等地名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 「歴帝へ対応認力のあから数時報が最か度が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。 「日本で、グループ指定を受けるが心を連携がある。 「関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンウについて「深自施設で実施している機会のみ) - 第二本で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) - 第二本で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) - ※定義を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - ※定義機関をを記入すること、 - ※定義機関を変しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - ※定義機関を変しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - ※定義機関を変しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - ※定義機関を変しているが心患療力が急に対して、他診療科や他病限と連携する等して対応している。 - グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を受しているが心診療は構想があるが、多数で規定がファンの提供を行っている。 - 小の変視体制がある。その影像後事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を関わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回と対心を診断さら療力がの変視的には、ライフステーン、最初に関係のと関係とは、表別による場合は、表別には、表別には、自然のに関係を対している。 - ※要素であるともの影像は事者により、企業が必要があり、これを変異できるとのに組織上関係に位置付けられた場が見がアライント。 - 「無者の無数を選集者できるとうがありました」、といる、実施している、実施のには、主体的には、とは、り、といる、関係と対している、とは、表別には、これを対し、説といるとは、といると、機能を関係している。 - ※実施するとは、表別で、これで、といるとは、表別であり、これを変換する体験を発している。 - ※実施するとは、表別であり、これで、と、表別を変換している。 - ※実施を変換しているといるとは、表別であり、これで表別を表別であり、これを変換を表別であり、これを変換を表別であり、これで表別を表別を表別を表別により、と、の様を倒わず、医療用温液をのとは極いまし、といる、の後を関わず、医療用温液を適能的と変換をあるとは、とい、から、の様を倒わず、医療用温液を関係のは高度のと関係を対象により、から、の様を倒わず、医療用温液を変換を変換を表しましました。 ※の食養機械関係は、これで表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
に、患者とその実施に緩やアンに関する診療力格と提示している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク マ イ ウ iii	その際、原生等機を強肉を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参良している。 「原生等機を接換できる体制を登儀すること。 「日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
「	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 88 89 99 90 99 19 1 92 2 93 3 94 94 95 96 97 99 99 90 90 10 10 27 27 30 3	エ オ カ キ ク マ イ ウ iii	その際、原生学権名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参視している。 設備さ入村配置のあから数特別を原便技術制度である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射視流療を提供できる体制を整備である。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力設置満定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除投で業施しているが人態産連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 ●リニアックについて(※自除投で業施しているが人患者のか)。 道道で業施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 外来化学療法を業態しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。 基準鍵できるがある。 本準鍵できるが、多なと認知する事態を受けして、飲食のより、 本生療法を実施しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。 基準鍵できるが、各事を受けるである。 本生療法を実施しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。 本生療理のようちの水準以内である。 を経過している。 グループ指定を守けるが人診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登場している。 の理解体制が人診療と見から必要と認知するというのが人患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど傾回 に苦慮の問題に努み、必要に緩和クアの提供を行っている。 の理解体制が心を書も内がの裏で伸います。 は、対したいました。 の理解を制から必要のが必要では、力ででは、対したまでは、表情をの定期的な確認項目に組み込むなど傾回 に対したいました。 には、対したいました。 とは、日本の希望を踏まえて配慮や支援が定さるよう効がに発き機工でいる。 とは、日本の希望を踏まえて配慮や支援が定さるよう対象でいる。 は、日本の希望を踏まえて配慮や支援ができるよう対象でいる。 は、日本の希望を踏まえて配慮や支援ができるとが対象で表すいている。 は、日本の希望を踏まえて記述を発展している。 は、日本の表が出たが、一部の表を受けている。または受けている。とは、表が必要を増加についても変りなどともに、適切な産産を輸用している。 は、日本の表が出たり、一部の表を受けている。または受けている。とは、表が必要を増加でするより、表が経過を考すている。 は、程力の発表を対したのと、とは、発力の変質は多すること。 の際には、自然の対象を使用を指定している。 は、程力の影像と変化できるととして、薬剤師や看護師等により、外来・病様を問わず医療用になりの診療を受けている。または受けている。とは、表が必要を持ている。としている、表述の方では、または受けている。ともは、表がの表がしまり、対しないの表がしまり、または受けている。 は、現れている、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
### お書や家族に対し、必要に応じて、アドハンス・ケア・ブランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。 アドハシス・ケア・ブランニング・人生の最終段階の施術・ケアに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の最終段階の施術・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の最終段階の施術・ケアに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・インス・ファンス・クランニング・人生の表がに アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表がでは、アドハシス・ケールの表がに アドハシス・ケールの表がに アドハンス・ケールの表がに アドハンス・ケー	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 97 99 99 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク 鍵和ケア イ く ウ に エ オ	その際、原生学権を陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。 「原本の本配面のあから放射線が最か度の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。 「自指費で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
###	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 88 89 99 90 99 19 1 92 2 93 3 94 94 95 96 97 99 99 90 90 10 10 27 27 30 3	エ オ カ キ ク 緩和ケア イ ウ に に オ カ	その際、原生学権を陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や入村配置のあから数時報を原の環境が固難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。 「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射能治療の品質管理を行っている。 ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) - 選述で実施しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ※準値響のようなが、といるが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ※単純響のようなが、影響と関係を記入すること。 - 水土に学療法を実施しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - 水土に学療法を実施しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - 水土に学療法を実施しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - 水土に学療法を実施しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - 水土に学療法を実性しているが人患者が急度時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 - 水土に学療法を実けるが人診療選携拠点病院との連携におり、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登しているが心診療選携機会病院との連携に対し、火が必要者のより、水土に関係を受けるが人診療選携機会病院との連携に対し、水・シをでは、			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙号に詳細を記載してください。 別紙号に詳細を記載してください。 別紙号に詳細を記載してください。 別紙号に詳細を記載してください。 別紙号に詳細を記載してください。
7 からそにより、緩和ケアの提供が立たも言を、院内の思やすい場所での提示や人族時の資料配布、ホームページ上の公開等により、が 人	79 80 80 81 81 81 82 83 84 4 85 85 86 87 77 87 87 88 89 99 00 99 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	カ キ ク 類和ケア イ ウ に ボ オ	その際、原生等単名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 「原生等単名陸内保急対策ののおから放け路が最後の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供してきる体制を整備している。 「カループ指定を受けるが心を連携があると 「関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 「リーアイン・第二条のでは、第二条機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 「リーアイン・第二条で実施しているが必要連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 「リーアインについて「※自無限で実施している操会のかり」 第三弦で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソイ/MM、例 202309) 加定機関名を記入すること、 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙目に詳細を記載してください。
のかいりつけ後等の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する像養上必要な設 男	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 87 88 89 99 90 91 91 92 2 93 93 94 94 95 96 97 7 98 99 99 90 00 01 01 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07	カ キ ク 類和ケア イ ウ に ボ オ	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 設備や入村配置のあから数時は発療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することの グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している機会のか)。 直述で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 ・ ***・・ **・ **・ **・ ** **・ **・ **・ **・			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利に、
の 別数な指導を行っている。 コ	79 80 80 81 81 81 82 83 84 4 85 85 86 87 77 87 87 88 89 99 00 99 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	エ オ カ キ ク イ ウ 「!!!! エ オ カ	その際、原生等機を陸内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 (原体) A 財産の自かの政情報を受けるが関係の保険が困難である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体例を登儀すること。 (日本できるが現ません。 (日本できるが現まがません。 (日本できるが現まがません。 (日本できるが現まがままがままがままがままがままがままがままがままがままがままがままがままが			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利に、
□ 競技性係傷に対する神経プロック等について、自意設における解除利養等との連携等の対応方針を定めている。	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 88 89 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生等機を陸内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 原体の大和医療の自分の設制を設備で発展が開発である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携があると、 関連する学会のガイトライン等も参考に、第三者整関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンクについて(※自無限で実施している場合のか) 第連点で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202300) 第連点で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202300) ※定義関を表しているが心患者が急変時等の緊急時に入版できる体制を確保している。 基準経費のようが心影療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 の問題者重要を含む有重要重要に対して、他診療科や時間股と運用する際している。 の問題者重要を含む有重要を含む有重要を対して、他診療科や時間股と運用する際している。 の問題者重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む有重要を含む利力を使用している。 のを提供を表しているが心患を環境を定じて、他診療科や時間股と運用する等している。 のを提供を表しまるが必要を表しまる。 のを表しまるが必要を表しまる。 のを表しまるが必要を表しまる。 のを表しまるが必要を表しまる。 のを表しまるの。多を影響がつきなりまる。 が心患を含の身体的含薬や精神の場所を実施するに対し入院、外来を関わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど類回が心患を表しまる。 が心患を治療となり、必定を経りまでをよる方をの形態を用しましまる。 が心患をおりまるが表しままる。 は影性のから表しままる。 などは影性のとなり、はと聴性のとなり、は能を受けている。 を影性のとなり、は、となりとしましままなり、とないのとないを表しままなしままなのとともに、適切な症が緩和について、患ののとなともに、適切な症が緩和について、経験対力・アンド及びカンアンレンスを行い、依確を受けていな、ために、かん患者をあるので苦痛の治療に実めるとともに、適切な症が緩和については関わるとともに、適切な症が緩和については関われるとも、多に、とは多している。 最初のアクルスを対したいと、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" ルルえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利ので、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、
2	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク (3) 緩和ケア イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 設備さ入材配置のあから数時は発療の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射接流療を提供できる体制を整備すること。 のループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の過質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設て業施」、ている場合のか)。 道道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309) 測定機関を記入すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 フリンウナース:液療施設において、各種専門チームや委員金と病 看護師等をつなく使剤を持つ看護節をいう。 アドレウス・アナフランニング・人との最終原間の医療・ケアについて、ネ人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うフロセスのこと。
選携する外部の景像機関に具体を紹介に実施している。	79 30 30 31 31 32 33 34 34 34 34 34 34	カ カ キ ク で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 「歴帝人材配置のあから数時報のの提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。 「カルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と通常することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と通常することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) 選通で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 *** ** ** ** ** ** ** ** **			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。 フリンウナース:液療施設において、各種専門チームや委員金と病 看護師等をつなく使剤を持つ看護節をいう。 アドレウス・アナフランニング・人との最終原間の医療・ケアについて、ネ人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うフロセスのこと。
ボームペーン等で、神経プロン学の白色施設における実施状況や連携販売機関を考、その実施体制について分かりやすく公表している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	カ カ キ ク で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学働金院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参良している。 設備で入れ配置のあから数け結び無効度が関係が関策である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射接流療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心態を進度すること。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力設置測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて「※自除設て来越」、ている場合のかり。 選述で実施した第三者機関による出力設置測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて「※自除設て来越」、ている場合のかり。 選述で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 ・ 本事線値の生ら%の水準以内である。 を登録選者重要を含む者書業量に対して、他診療科や他の限と過度する等して対している。 グループ指定を引きが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登値している。 の提供権制が心診療に携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回に苦を急に担係もから診を追加している。 の提供権制が心診をは携わる全ての診療従事者により、全てのが心患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回に苦を急に担係したので、カースでは、クースで、クースで、クースで、クースで、クースで、クースで、クースで、クースで			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。
入井奈(つ)で、関連している。	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 7 88 88 89 89 89 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ ラ マ イ ウ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	その際、原生学権を陸内を対策が、インス事業(JANIS)へ参良している。 原語の人材配置の自かの政制を対象の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のでは、第三本機関による出力験量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンクについて(※自無限で実施している機会のみ) 第三点で実施した第三者機関による出力験量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 第三点で実施した第三者機関による出力験量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) ※定義関連書事を含含む有重事量を対して、配き機合のみ) 第三点で実施した第三者機関による出力を確保している。 本華経費のよちやの水準以内である。 免疫関連者事事を含む有重量象に対して、配き機科や時限と連携する事とで対応している。 のを関連者事を含む有重量事を含む有重量を含むが、 カループ指定を受けるがい診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のトンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 免疫関連者事事を含む有重量を対して、配き機科や時限と連携する事に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど類回が必要が、おから多に関係が多い。多な影響がアンフ度操作でしている。 のを観視を取り、多な影響がアンフ度操作でもより、経験を持たプレスをいかが、 のを表しまり、多な影響がアンフ度操作でもより、 多数影響がから、異して影響の、多数影響がアンの関係性学、が、患者の身体的高級で精神の関節音楽、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断や治療力がの変更物には、ライフステーン、就学・対策・対策・なり、が、心を表しまでは、を受けている。 診断や治療力がの変更物には、ライフステーン、就学・対策・接近大の影響とかり、なれを支持するため、が、心を関している。 は影の方のと思いないが、と思いないが、と思いないを表している。 定期的に病様ランンド及びカンファンンスを行い、依頼を受けていないが、患者も含めで苦痛の把握に努めるとともに、適切な症が緩和については関ルを対している。 を説を対するといるが、心を表したいが、と思いなとないを表している。 直接の方のと無性に関するできるよう指拠している。 認知アファラルが、心を表したいで、連れアナルを表しましている。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないを表している。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないを表しましている。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないで表しましましましている。 は説がアフルを書といが、他の表を機関に対している。 認知アフル・ないが、必要がに、またい、と関係の表に対してが、表が、とい、外来・病様を問わず、医療用している。 は知わアフトを表したいで、を表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しま			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。
入井奈(つ)で、関連している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ ラ マ イ ウ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	その際、原生学権を陸内を対策が、インス事業(JANIS)へ参良している。 原語の人材配置の自かの政制を対象の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のでは、第三本機関による出力験量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンクについて(※自無限で実施している機会のみ) 第三点で実施した第三者機関による出力験量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 第三点で実施した第三者機関による出力験量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) ※定義関連書事を含含む有重事量を対して、配き機合のみ) 第三点で実施した第三者機関による出力を確保している。 本華経費のよちやの水準以内である。 免疫関連者事事を含む有重量象に対して、配き機科や時限と連携する事とで対応している。 のを関連者事を含む有重量事を含む有重量を含むが、 カループ指定を受けるがい診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のトンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備している。 免疫関連者事事を含む有重量を対して、配き機科や時限と連携する事に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど類回が必要が、おから多に関係が多い。多な影響がアンフ度操作でしている。 のを観視を取り、多な影響がアンフ度操作でもより、経験を持たプレスをいかが、 のを表しまり、多な影響がアンフ度操作でもより、 多数影響がから、異して影響の、多数影響がアンの関係性学、が、患者の身体的高級で精神の関節音楽、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断や治療力がの変更物には、ライフステーン、就学・対策・対策・なり、が、心を表しまでは、を受けている。 診断や治療力がの変更物には、ライフステーン、就学・対策・接近大の影響とかり、なれを支持するため、が、心を関している。 は影の方のと思いないが、と思いないが、と思いないを表している。 定期的に病様ランンド及びカンファンンスを行い、依頼を受けていないが、患者も含めで苦痛の把握に努めるとともに、適切な症が緩和については関ルを対している。 を説を対するといるが、心を表したいが、と思いなとないを表している。 直接の方のと無性に関するできるよう指拠している。 認知アファラルが、心を表したいで、連れアナルを表しましている。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないを表している。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないを表しましている。 認知アファラルが、心を表したいで、と思いないで表しましましましている。 は説がアフルを書といが、他の表を機関に対している。 認知アフル・ないが、必要がに、またい、と関係の表に対してが、表が、とい、外来・病様を問わず、医療用している。 は知わアフトを表したいで、を表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しましまいで、表しま			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。
8 全てのがん患者に対して苦痛の把握と適切はがかなされるとう緩和ケアに係ら節後や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム)、 東保育展案の処理するだと、院内の展別でアに係る情報を開発、検討、立要者する場合を提出した。 ・	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 89 99 00 99 01 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	エ オ ク (3) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	その際、原生学権を協内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 国施育でお配施の急体的会社機能の受け扱い関係である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備すること。 「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 基準接着のよういの水準以内である。 及庭間選者事業を含む者事業を見して、いる施食料である。 ・			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。 別紙9に詳細を記載してください。
接機用麻薬の処力者など、院内の腫和ケアに係る情報を押機し、接針・改業する場象を設置している。	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ ク (3) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	その際、原生学権を協内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 国施育でお配施の急体的会社機能の受け扱い関係である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備すること。 「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。 基準接着のよういの水準以内である。 及庭間選者事業を含む者事業を見して、いる施食料である。 ・			いが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。 別紙目に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。 別紙月に詳細を記載してください。
① 地域連携の建連体制	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 97 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク フ イ つ し コ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	その際、原生学書を協内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 国施育な対応認力のありた対策制度の原質が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンウについて(深自無限で実施している機会のみ) 第二版で実施した第三者機関による出力線量測定を呼吸を明確できるに、次イン・大学の大学の対象を明確でするとと、(イソイン・MM、例 202309) ※定義機関をを記入すること、 基準機関のよちが必必定機関との連携により、薬物療法のレジンを審査するととして、機工の企業物療法を提供できる体制を登価している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実持しているが心患療達構造病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登組しているが必要では構想が高病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登組しているの影像使事者により、全のが心患者に対しているが必要が関いているが必要が関いているが必要が関いによって重要な問題についていま者の場合とての影像技事者により、このでは、技術がによっている。 ・ 大学を持ているが必要がは、オース・アーン・競手が表が、発きまで、実施との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の影響を選まて配慮とな理ができるよう多ない、が必要は、またし、とないを検集を表している。 ・ 大学を持ているが、影響により、できるよう多ないと、 ・ 大学を持ているとのいきが表がまるとは、機能を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症が緩和についていいにより、とないには、とないが必要を等、小学、病体の看護薬務を支援、使用といる、とない情がとないが必要を等している。 ・ 大学 のできるとも対象が変が、表面のに関いませるとは、表面のとしている。 ・ 大学 のできるとも対象としている。 ・ はいる は、表面のに関いましている。 ・ またいを表に表していると、といるのは、表面ができると、表面ができるとも、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、と、とのアン・大学を含めを発展している。 ・ おかっている は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる でいる でいる でいる は 大学 でいる			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年70~2 と 127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
2	79 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 990 991 91 92 92 93 93 94 94 95 86 87 87 88 88 89 990 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 9	エ オ カ キ ク フ イ つ し コ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	その際、原生学書を協内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 国施育な対応認力のありた対策制度の原質が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンウについて(深自無限で実施している機会のみ) 第二版で実施した第三者機関による出力線量測定を呼吸を明確できるに、次イン・大学の大学の対象を明確でするとと、(イソイン・MM、例 202309) ※定義機関をを記入すること、 基準機関のよちが必必定機関との連携により、薬物療法のレジンを審査するととして、機工の企業物療法を提供できる体制を登価している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 ・ 大学化学療法を実持しているが心患療達構造病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登組しているが必要では構想が高病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登組しているの影像使事者により、全のが心患者に対しているが必要が関いているが必要が関いているが必要が関いによって重要な問題についていま者の場合とての影像技事者により、このでは、技術がによっている。 ・ 大学を持ているが必要がは、オース・アーン・競手が表が、発きまで、実施との関係性等、が心患者とその家族にとって重要な問題について、患者の影響を選まて配慮とな理ができるよう多ない、が必要は、またし、とないを検集を表している。 ・ 大学を持ているが、影響により、できるよう多ないと、 ・ 大学を持ているとのいきが表がまるとは、機能を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症が緩和についていいにより、とないには、とないが必要を等、小学、病体の看護薬務を支援、使用といる、とない情がとないが必要を等している。 ・ 大学 のできるとも対象が変が、表面のに関いませるとは、表面のとしている。 ・ 大学 のできるとも対象としている。 ・ はいる は、表面のに関いましている。 ・ またいを表に表していると、といるのは、表面ができると、表面ができるとも、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、表面ができると、と、とのアン・大学を含めを発展している。 ・ おかっている は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる は 大学 でいる と 大学 でいる は 大学 でいる でいる でいる でいる は 大学 でいる			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年70~2 と 127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
は、	79 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 89 99 00 99 11 91 92 92 93 93 94 94 94 94 94 95 95 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96 96	エ オ カ	その際、原生等等金度内段と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参視している。 国施分々配置のあから数時報の原の原状が開催である場合には、グルーブ指定を受けるが心診療達携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 グルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力設量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアソフについて(※自施設で実施している場合のか)			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年70~2 と 127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
は、	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク フ イ ウ ニ ニ ニ ニ キ ク ケ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ	その際、原生学権を陸内を対策すーベイランス事業(JANIS)へ参視している。			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
議論的がん患者や障害を持つが、患者で実施の意思決定支援の体験を整え、地域の高度機関との連携等を図り絵合的に 「実施している。 」 、 介護施設に入居する高齢者ががん。診断された場合に、介護施設等と治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。 ・ イ 地域の医療機関の感染と診断及ど治療に関する相互的企業機の人体制・数 食店体制を整備している。 ・ ク 当該が人医療理内のがん・診察に関する情報を集制し、当該が人医療関内の医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ カ カ キ ク イ ウ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、原生学権を陸内を対策すーベイランス事業(JANIS)へ参視している。			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
5 i iv i 分議物設に入居する高齢者ががんと診断された場合に、介護施設を上治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。 - イ 地域の医療機関の保護・診断とが大き 連続 は 大郎	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ カ カ キ ク イ ウ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、理学等性会認的概念分類サーベーターン工業第(JANIS)へ参称している。 整備で入材配置のよかに対解されるの理像の問題である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療と提供できる体制を登積する。と がループ指定を受けるが、と がループ指定を受けるが、と がループ指定を受けるが、と がループ指定を受けるが、と が出ープルで、会 が上ープルで、会 「クループ指定を受けるが、と の と の と の と の と の と の と の と の			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
6 イ 地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連維能力体制・教育性制を参慮している。 - ウ 当該が小医療機関の医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 - ウ 当該が小医療機関のの医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 - かい思考に対して、開解期の日産健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯 料医師と連携して対応している。 - 別紙29に詳細を記載してください。 - 対処選長時には、が心疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも機能して実施できる体制を発揮している。 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク ケ コ 「 iii キ ク ケ フ フ 「 iii iii キ ク ケ フ 「 iii iii iii iii iii iii iii iii iii	その際、理学等性会認時成後が関サーベーターン工業室(JANIS)へ参側している。 設備の人材配合のよかに対解されるの登場の関係の関係である場合によったリーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射機能を設備してなら体的を関連する。と のルーブ指定を受けるが心診療と関係できる体制を登積している。 のルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院との機能である場合により取射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施程で実施している)総合の外) 第正で実施した第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程管理を行っている。 ・本生検室の上5%の水準以内である。 本生検室の上5%の水準以内である。 本生検室の上5%の水準以内である。 本生検室の上5%の水準以内である。 本生検室の上5%の水準以内である。 本生検室の上5%の水準以内である。 本生検をととしている。 小果化学療法を実施しているが心患者が全変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 本生検室の上2%の水準以対してあるが、 本生検室の上2%の水準以対してあるが、 本を使用している。 小型が促生性がある。 小型が出たが、 のが、多型な場が下アの建筑を行っている。 がいた患者の身が高端、主始的が回路等の問題とびそれらに対する側の対応を、 接触がからたりまりの変更がは、 はいたの影の影響を設定できるよう勢のている。 では、多型の影響を設定するとよう多のている。 では、多型の影響を設定すると、が必要であり、 を影響がある。からの影響は対している。 は、2000の変異と対した。からが影響は対している。 は、2000の変異と対した。からが影響は対している。 とののでは、規定するがより、が必要が関係がよりまましまして、 とののでは、規定するが表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
8 がん患者に対して、周病期の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯 - 別紙29に詳細を記載してください。	779 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 85 86 85 86 86 87 87 88 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80	エ オ カ キ ク マ イ ウ エ オ カ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、原生学動金製肉肉酸と強情することにより放 製造の人材を図るのから取得は過度の発便が顕常である場合と、。 ・ 国施育で発生を含めたとのでは、 がループ指定を受けるがん診療連携ある内臓と連携を関している。 のアープログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙8に詳細を配載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り20年70~2 と 127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
特技術と選集人と対したしている。 9 対 地域議議時には、がら疾痛等の症状が十分に緩和された状態での退除に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内 での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも緩接して実施できる体制を整備している。 4 過度支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意思決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在	779 80 80 81 81 82 82 83 83 84 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 99 90 91 91 92 92 92 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93	カ カ キ ク マ イ ウ IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	その際、理性が動き繰り飛り返り推進している。			ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には、 いいえ、を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 別紙7に詳細を記載してください。 り以かが選択されます。
での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも機能して実施できる体制を容値している。 は、 は、 は、 は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま ま は ま ま は ま ま は ま ま は ま は ま ま ま は ま ま ま ま ま は ま ま ま ま ま ま ま ま	779 300 301	エ オ カ マ イ ウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学動を認知内感を対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 (国施力な利産の企め、対策制度の企業の経験が関係の必要を持ている。) (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を関けている。) (アルーブ用定を受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。 (アルーブルで)・一般に対している。 (日本アックについて)・(米自原段で実際している。 (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定を行い、放射線治療の必質管理を行っている。 (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定を行い、放射線治療の必質管理を行っている。 (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定の時期を実践すること、(YYYY/MM、例、20239) (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか) (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか) (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか) (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか) (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか) (第二年アックについて)・(本ののか) (第二年アックに対して)・(本ののか) (第二年アックに対して)・(本ののか) (第二年アックに対して)・(本ののか) (第二年アックに対して)・(本ののか) (第二年アックに対して)・(本のの) (第二年アックに対して)・(本のの) (第二年アックに対して)・(本のの) (第二年アックに対して)・(本のの) (第二年アックに対して)・(本の) (第二年アックに) (第二年アックに対して)・(本の) (第二年アックに) (第二年アックに対して)・(本の) (第二年アックに対しで) (第二年アックに対して) (第二年アックに対して) (第二年アックに対して) (第二年アックに対して) (第二年アックに対して) (ル・が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には、いいえ、を選択してください。 別紙8に詳細を記載してください。 7日セスのこと。 和127日 - 413行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"にいか"選択されます。
リ	779 800 811 82 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク ケ コ に に は に は に に に に に に に に に に に に に に	その際、理性が動き認り内感を対策である。 (主) というない。 (主) といっない。 (主) というない。 (主) というない。 (主) というない。 (主) といっない。 (主) と			ルンが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙のに詳細を記載してください。 知識には非細を記載してください。 17日 と 19行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"はい"が選択されます。
	79 80 81 81 82 82 83 84 85 85 86 86 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87	エ カキーク ク (3) 臓和ケア イ ウ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	その際、理性が動き設け、内部との企業を指揮している。 「日本の本語を表現している。 「日本の本語を表現している。 「日本の本語を表現している。 「日本の本語を表現している。 「日本の大語を表現している。			ルンが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙のに詳細を記載してください。 知識には非細を記載してください。 17日 と 19行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"はい"が選択されます。

8 / 44 ページ 様式4(機能別)

TT			要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
	+	Ŀ	当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とかんに関する医療提供体制や社会的支援、緩 和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討する場を年1回以上設けている。	-	II NO MILOS DEISC	
	<u> </u>		接和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、 必要に応じて助言等を行っている。	-		ピア・サポート:患者・経験者やその家族がピア(仲間)として体
Œ	ク シ セカ		都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。 ビニオンに関する体制	_		共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。
	ア		医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等において、すべてのがん患者とその家族に対して、他施設でセカンドオピニ オンを受けられることについて説明している。	-		
			説明の際、心理的な課壁を取り除くことができるよう留意している。 がん典者に対するB-010 診療情報提供書(II)の算定件数(期間:令和5年1月1日~12月31日)			
	イウ		当該施設で対応可能ながんについて、手術療法、放射線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する風跡により セカンドギビニオンを提示する体制が整備し、最初にかかりやす公室すること。 セカンドギビニオンを提示する場合は、必要に応じてナンラインでの制能を受け付けることができる体制を確保している。	-		
(6	きまア	1ぞれ(D特性に応じた診療等の提供体制 希少がん・報治がんの患者の診断・治療に関しては、精極的に都道府県協議会における役割分担の整理を活用し、対応可能な施設への紹			
	7		介やコンサルテーションで対応している。 小別が心患者で長期フォローアップ中の患者については、小児が心拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。 各地域のがが、生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のが心患者等の好孕性温存療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象	-		
	ゥ		台地域のかん・土地区版ペンドノーノー加入し、「小YANALINOが小型自分の対学は温仕旅法研究促進事業」へ参加するCCもに、対象 となりら高素者や変態には必ず治療開始前に情報提供している。 患者の希望を確認するとともに、が必治療を行う診療料が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療	-		
		2	法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。 自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めている。	-		別紙10に詳細を記載してください。
	I		放学、就労、妊孕性の温存、アビアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援セン テーで対応できる体制を整備している。	-		妊孕性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子ではなく、性機能や生殖器、内分泌機能も重要な要素である、 アピアランスケア: 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて見の変化を補完し、外見の変化に起因するが心患者の苦痛
			それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。 一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究金の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数 (尚、AYA世代支援チームに在籍する者に限らない)	-		するケアのこと。 別紙10に詳細を記載してください。
	オ		高齢者のがんに関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保している。 また、意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。			
	b	ŀ	高齢のが心患者に関して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている。 医療機関としてのBCPを策定している。	-		別紙10に詳細を記載してください。
(2) 診	療従事	事者 門的な9	ロ議及び技能を有する医師の配置 ※以下、常勤職員の人数を回答する項目において、非常勤職員を常勤機算して常勤職員と合算することに	は不可です。		
	ア		対応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。専従:専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら
	1		専従の放射総治僚に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数(※放射総治療を実施する場合)	-		していることをいう。この場合において、「専ら従事している」と その就業時間の少なくとも割以上、当該診療に従事している をいう。 ※自施設で放射線治療を実施している場合は、一人以上の が必要です。
	ゥ	:	専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		専任:専任とは当該診療の実施を専ら担当していることをいっ の場合において、「専・担当している」とは、その他診療を兼 いても差し支えないものとする。ただし、その戦業時間の少な 5割以上、当該診療に従事している必要があるものとする。 ※一人以上の配置が必要です。
	Ι	i	緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数	-		常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者 う。病院で定めた医師の: 追問の勤務時間初、23時間対、23時間、23時間以上勤務している者を常動とし、その他は非常動 る。 ※一人以上の配置が必要です。
			当該医師のうち専従の者の人数 緩和ケアチームに配置されている、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数 ************************************			※一人以上の配置が必要です。
	+	-	当該医師のうち、専任の者の人数 当該医師のうち、常勤の者の人数 専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数			
G	2) 直門	明的な	学ないが理念的に抜いる学口的はA知識及び攻配を有うる医師の人数 リルビリテーションに構わる車間的な知識法とは代格を有する医師の人数 知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置	-		
	ア	-	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の診療放射線技師を2人以上配置している。(放射線治療を実施する場合) 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の診療放射線技師の人数	-		※放射線治療を自施設で実施する場合には、2人以上の配
			からでは135~1255~1255~1255・1255・1255・1255・1255・125			要です。
		ľ	学士の放射線治療に携わる専門的は知識及び技能を有する常動の看護師を1人以上配置している。(放射線治療と実施する場合) 専任の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の看護師の人数	-		※放射線治療を自施設で実施する場合には、1人以上の配きし、
	_	-	上記の看護師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数 外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の	-		W INTO THE CASE OF
	1		看護師の人数 当該看護師のうち、専従である者の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
			外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の 春理師のうち、がん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の薬剤師の人数 毎任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数	-		
	ゥ	i	等性の条例放流に残りる等下的はA加減及び技能を有する希別の条例側の人数 緩和ケアテームに配置されている、専従の緩和ケアに携わるが人看護又は緩和ケアに関する専門的な知識及び技能を有する 常勤の看護師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
	I		当該看護師のうち、がん看護又は緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに協力する薬剤師、社会福祉士等の相談支援に携わる者、公認心理師等の医療心理に携わる者を	-		
	-	ļ	それぞれ1人以上配置している。 緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数 緩和ケアチームに協力する社会福祉士等の相談支援に携わる者の人数			
	オ	-	緩和ケアチームに協力する公認心理師等の医療心理に携わる者の人数			
	-		機能診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数 当該診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数 が人のリハビリテーションに係る業務に携わる展門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、直接原生す等の人数 が人のリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する哲学療法よの人数 が人のリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体業療法士の人数 が人のリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体業療法士の人数 が人のリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体要療法士の人数			
(3) そ	の他の	り境現	を領寺 以頭に広! ゲルーブ指令を受けるがん診療連準拠占確院と連準する等により IT の2の(3)に令める悪性を落たすこと			
(2			患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している。 集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認	-		別紙9に詳細を記載してください。
			できる環境を整備している。 その冊子や視聴覚数材等はオンラインでも確認できる。			
(4			がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアビアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を整備している。	-		ロログディオーラングニナ ラフキナト・アノナ・ナト、
(4	U		な感じている。 が気息者の自身リスクに対し、膣内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明确にしている。 対応方法や関係機関との連携について、関係職種に情報共有を行う体制を模型している。 自施設に精神料、心療内科等がある。			別紙14に詳細を記載してください。
		-	自施設でがん患者の自殺リスクに対応できる。			自施設に精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合:
3 診療実	(積		自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。			してください。
			当該が心医療圏のが心患者を一定程度診療していること。 当該が心医療圏のが心患者の診療割合(%)			右隣シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。
			院内がん登録数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法: 入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区 および30の数をいう。 計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第10部に掲げる悪性
			悪性腫瘍の手術件数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認され 合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。
			がんに係る薬物療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法:経口、静注または皮ト注射による全身投与を対象 る。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数
		ŀ	うち、外来化学療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	_		いては1レジメンあたりを1人として計上する。
			2 52 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療
			放射線治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につし
		_	放射総治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
4 人材育	成等		緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。
4 人材育	成等	-	緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、耳の4に定める要件を満たすこと。 自該版において、2に掲げる診療体制での他要件に関連する影響のかかに必要な人材の確保や可原に積極的に取り組んでいる。 機能、診療の関係表あるために必要な、各種学会的哲質する音響等の問題についても構物的に実現した。	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
	成等		緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じグルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、且の4に定める要件を満たすこと。 自該版において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する原規のために必要な人材の確保や育成に積積的に取り組んでいる。			れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につ 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じグルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、Ⅱの4に定める要件を満たすこと。 自然院において、2に掲げる診療体制その他要性に関連する影響のためた必要な人材の確保や可求に積極的に取り組んでいる。 機能、診療の原生系のあるために必要なな、各種学会が記事する音解素の思想にはいてしている。 「機能、診療の原生系のあるために必要な、各種学会が記事する音解素の思想にはいている。 「機能な資格を有する者のがん診療への配置状況について積極的と必要している。 「機需長は、自然的においてがん感療に携わる専門のな知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医論を分析の専門性をナ分に参拝できる体制が影響している。 「物等人の専門性をナ分に参拝できる体制が影響している。 が、等の診療に対する医師がよりを順性の表している。 の別念に主導し、当該が心医療圏においてがん診療に携わる医師を対策との関催的計・「平成29年12月1日付け健康120第2年発生労働省健康局長通知の別念」に単し、当該が心医療圏においてがん診療に携わる医師を対策との関性的計・「平成29年12月1日付け健康120第2年発生労働省健康局長通知の別念」に専制し、当該が心医療圏においてがん診療に携わる医師を対策との表している。 また、自診療の長、および自診療に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修り記を明えても必要にないている。 ・ 「できた射を発展している」 ・ 「大きない」といることでは、100~100~100~100~100~100~100~100~100~100	- - - - -		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 〈期間: 令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じがルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する筆により、且の4に定める要件を満たすこと。 自然院において、2に揚げる診療体験をの他要性に関連する影像のために必要な人材の確保や資料に積極的に取り組んでいる。 構造、診路の原本系のために必要な、各種学金件が設定する音楽をの影視についても無縁的に変現している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「動態が上の選門性を十分に急種できる体験がを機している。 が人等わ診療においてがん患が機能である機能が、単位している。 が人等わ診療に持ちる医師ではよりを準備している。 が人等の診療に持ちる医師ではよりを構作がある医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道所県と協議のよ、開催している。 おいま物の表、および自然設定、肝臓する臨床研修医及び1年以上自施設に肝臓するがん診療に携わる医師・歯科医師が自該研修を修 できる体験を表している。 東連を退え場合においていてのより機合する。 東連を退え場合においていている。 東連を退え場合においていている。 東連を選え場合においていている。 東連を選える場合においていている。 東連を選える場合においていている。 東連を選える場合においていている。 東連を選える場合においていている。 東連を選える場合においていている。 東連を選える。 「ちら結び研修をがしている」 ・「ちらは、「おりに、「は、「なりに、」」 ・「ちらは、「なりに、「は、「なりに、」」 ・「ちらは、「なりに、」」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらは、「は、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちんは、「なりに、」 ・「ちらは、「なりに、」 ・「ちらに、」 ・「	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		認力を発生している。 「最初かります。 「おいます。 「おいまする。 「おいます。 「おいます。 「おいまする。 「おいます。 「おいまする。 「おいます。 「おいまする。 「おいまする。 「おいまする。 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。 「おいまする。」 「おいま	- - - - - - - - -		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につい 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 〈期間:令和5年1月1日~12月31日〉 必要に応じブルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携する等により、且の4に定める要件を満たすこと。 自意談において、2に掲げる診療体制での他要件に関連する影射のためこ必要な人材の確保や音点に関係した取り組んでいる。 制度、診療の資を高めたらか」必要な、各種学会が設定する意動のためこ必要な人材の確保や音点に指揮的に取り組んでいる。 制度、診療の資を高めたらか」必要な、各種学会が設定する意動等の取倒についても精神的に変視している。 の協議とは、自意設においてが心療能に携わる場所のな知識及び技能を有する影飾等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師事が行の動門性を分ける機できる体験が参加している。 がん等の診療に携わる医師等に対する経験や力を出ている。 がん等の診療に携わる医等等に関する経験を利力といる。 がん等の診療に携わる医等等に対する経験や力を上し、機能ですて関する研修を、都道所果に協議の上、開催している。 ちた、自診説の長、および自診院に所属する臨床研修器及び1年以上自施設に所属するが心診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修 受護連を犯別報度において以下の過じ機合する。 令犯6年9月1日時点で自除院に外属する初期協族研修器及び1年以上自施設に所属するが心診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修 受護連を犯別報度において以下の過じ機合する。 令犯6年9月1日時点で自除院に所属する初別協族研修器を修了者数	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につい 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数

9 / 44 ページ 様式4(機能別)

11	針の篋	i infe		要件	要件区分	令和6年9月1	備考欄
_	ISI V/E			□ 自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供してい	安計區方	日時点の状況	调
527		(6)		目記成の必然体争有等に、かん対象の目的で思義、かん思有でもの家族が利用できる制度で関係機関との連携体制、目記版で提供している診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。	-		
528				自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。			
529				令和5年1月1日~12月31日の開催回数			
530				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-		
F01		(7)		Donn 重複なを4会して よ() 重複に関すて係るからではを中間がに中枢していて			
531 532		(7)		院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。 令和5年1月1日~12月31日の開催回数			
533				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-		
534				他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に	_		
535		(8)		参加させている。			
536	5		援及び情報	医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。 ・の収集提供	_		
537			(ん相談支援	センター			
538				がん相談支援センターを設置し、①、②の体制を確保した上で、グループ指定のがん診療連携拠点病院との連携と役割分担によりIIの5の (1)の③から③に規定する相談支援業務を行っている。	-		
539				必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を母国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。			
540 541				コミューケーンヨンに配慮が必要な者や、日本語を時間語としていない看等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。 情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している			
541 542		(D	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員研修を修了した専従及び専任の相談支援に挟わる者を1人ずつ配置している。			
543 544		C	2)	当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)から(3)を修了している。 相談支援に進わる表は、対応の質の向上のために、が6、相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の重新に努めている。			別紙13に詳細を記載してください。
545			3)	相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、がん相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めている。 院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体	-		別紙12に詳細を記載してください。
546			~	制を整備している。 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。	-		別紙14に詳細を記載してください。
547		(4)	がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。	-		Minute in the Character of the Character
548			ア	外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。	-		別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
549			1	治療に備えた事前の面談や準備のフローに組み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう	_		
550			7	繰り返し来内を行っている。 院内の見やすい場所にがん相談支援センターについて分かりやすく掲示している。			
551			Í	地域の住民や医療・在宅・介護福祉等の関係機関に対し、がん相談支援センターに関する広報を行っている。	-		
552 553			*	自施設に通院していない者からの相談にも対応している。 がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。			
554			4				※指定された期間以前に、がん相談支援センターを利用した者の
555		e	E)	令和5年1月1日~12月31日の期間に、がん相談支援センターを初めて利用した者の相談件数			件数については、計上しないようご注意ください。
556			9)	がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。 フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。			
557		0	6)	患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準じる者が統括するなど、がん相	-		
_		-		談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備している。 がん相談支援センターの相談支援に携わる者は、Nの2の(4)に規定する当該都道府県にある都道府県拠点病院が実施する相談支援に携			
558			D	わる者を対象とした研修を受講している。			
559 560		(4	8)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けている。 その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。			
560 561				オンライン環境でも開催できる。	-		
562 563			内がん登録	t 院内がん巻級の実施に係る指針に即して院内がん巻級を実施している。	-		別紙16に詳細を記載してください。
564		Ġ		国立がん研究センターが実施する研修で認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。			初級認定者または中級認定者の1人以上配置が必要です。
565 566				中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数 初級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数			
567		C		毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	-		
568 569		(3) 情	報提供・普及	及啓発 II の5の(3)に定める要件を満たすこと。			
570		(D	自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。			
571				希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援(妊孕性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	-		
572 573				希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。			
573 574				提供できる治療・支援の内容を広報している。 小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A/		
575				提供できる治療・支援の内容を広報している。	A/-		
576				AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	- A/-		
577 578				<u> </u>			
579 580				提供できる治療・支援の内容を広報している。 がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A/-		
581				ががノイム医療への治療及び支援を自認度ないには連携する認度でいればするに使いてきる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。	A/-		
582 583		0	2)	大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。			
584			~	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 特に、我が国に多いがんの中で、自施設で対応しない診療内容についての連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて地			
585		-	3)	域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。			
586				地域を対象として実施した、がんに関するセミナー等の開催回数(総数)			地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
587			4)	参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。 患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な	-		
588		(5)	医療機関に紹介している。	-		別紙17に詳細を記載してください。
589		(6	がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めている。	-		
590				なお、がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な	-		
591	6	施庄和	究及び調査	配慮を行っている。			
592		(1)		政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力に努めている。			
Enn				これとの草本の物もは経に対応する空口の連絡は本国立が人草本はいた。 にきぬまで			別紙18に詳細を記載してください。別紙18へ記載して現況報告書
593				これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。	-		を厚生労働省に提出することをもって、本要件は充足したとしてくだ さい。
594		(2)		治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。			
595 596				治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。	-		
597				臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数			
598 599				治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備している。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。			
600				臨床研究法に則った体制を整備している。			
601 602	7	医病の	質の改善の	実施内容の広報等に努めている。			
603	,	(1)	・異い政告の	自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内			
604		(1)		の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。 その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。			
605		(2)		その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。 医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。			別紙20に詳細を記載してください。
606		(3)		日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	_		別紙20に詳細を記載してください。
500		(5)					日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。
607				第三者の名称	-		
608				直近で評価を受けたタイミング(YYYY/MM、例: 202309)	_		
				BLEE CAT BEING X 1771—27 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			

10 / 44 ページ 様式4(機能別)

様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要 不要

病院名: 砂川市立病院 時期・期間: 令和6年9月1日時点

呼称・例 ※様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。 ※適し番号については、様式4(機能別)シートのA別(左線)の番号を記入してください。 ※令和6年9月2日以降に、要件の方定状況に受動があった場合には、別途、都道解集を通じて文書で厚生労働省機康・生活衛生局がA・疾病対策課へ届け出てください。 ※右上について、最初は「不要」と表示されます。様式4(機能別)を入力後に、上部にある「株式4(機能別)シートの入力後、クリックしてください。」ボタンを押下ください。未充足要件が抽出されます。

予定である。

11/44

_		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		

12/44 別紙1未充足要件

専門とするがんの診療状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

- 時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日 我が国に多いがんと、希少がんを含むそれ以外のがんの各がん種において、
 ■診断および初発例に対する各治療、再発例への治療について自施設の専門レベルを専門: ②、対応可: ○、他施設へ紹介: △で記入してください。
 ・専門(③): 当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている
 ・対応可(○): (積極的に重視者を集めるわけではないが)受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である
 ・他施設へ紹介(△): 他の施設に紹介することで対応している
 ■診断あるいは、いずれかの治療について、「専門⑤」あるいは「対応可○」と記載した場合は、2022年、2023年の治療開始数(院内がん登録の、症例区分20, 21, 30)を、国立がん研究センターにおいて計算上提供しますので記入不要です。その際には、より詳細な区分で集計します。
 歯者には、手術・放射線・薬物療法以外で行っている治療や特に当該が人種に関する窓口などがあれば、記載して下さい。
 「臨床試験の実績の有無については、過去5年間の態味試験の参加実績の有無についてご記入ださい(有・無)。
 特に明記されていないところでは、各臓器でリンバ腫を除く各部位のがんについてお答えください。
 通常初回治療として行われない治療については、記入不要です(グレー背景)。それ以外は全てご回答ください。

- - 注1 専門(◎):当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている 対応可(○):(積極的に患者を集めるわけではないが)受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である 他施設へ紹介(△):他の施設に紹介することで対応している

注2 臨床試験=治験であれば I ~Ⅲ相いずれでもよい。

ı	汪2	臨床試験=治	à験であれば I ^ ■ □	~川相いすれて 載必須	さもよい。		しどれか	[三世] 対応可	としたときは公開	1
			可〇/他施設	へ紹介△(注1)			開始数	CO/CCC IS A M	備考
成人(15歳以上)	診断 (生検等)	手術	初発例への治療 放射線	薬物療法	再発例 への治療	臨床試験(注 2)の実績の有 無	2022年	2023年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
脳腫瘍(リンパ腫以外)	0	0	0	0	0	無	(良悪性を別に	集計表示)	脳神経外科	
脳腫瘍(リンパ腫)	0		0	0	0	無			脳神経外科	
脊髄腫瘍 	Δ,		00	<u> </u>	Δ	無			脳神経外科	
<u>眼腫瘍(眼瞼以外)</u> 鼻腔・副鼻腔がん	Δ	Δ	О Д	Δ	Δ	無無			脳神経外科 耳鼻咽喉科	
口腔がん	0	0	Δ	0	0	無			歯科口腔外科·耳鼻 咽喉科	手術再発の場合は紹介す る場合もあり(歯科口腔外
咽頭がん(上・中・下)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無	(上,由,下咽頭	を別に集計表示		科)
喉頭がん	Ō	C	Ö	Ö	Ö	#	(I T T ED)		耳鼻咽喉科	
唾液腺がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無			耳鼻咽喉科	
外耳道がん	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無			耳鼻咽喉科	
頭頚部肉腫	<u> </u>	<u> </u>	Δ	Δ	<u> </u>	無			耳鼻咽喉科	
甲状腺がん 乳がん	O	0	0	0	O (6)	無有			耳鼻咽喉科	
		•							乳腺外科 呼吸器内科·心臟血	手術は当院と札幌医科大
気管がん	0	Δ	0	0	0	無			管外科 呼吸器内科·心臓血	学病院と連携して実施手術は当院と札幌医科大
非小細胞肺がん	0	Δ	0	0	0	無			管外科 呼吸器内科·心臓血	学病院と連携して実施 手術は当院と札幌医科大
小細胞肺がん	0	Δ	0	0	0	無			管外科	学病院と連携して実施
胸腺がん	0	Δ	0	0	0	無			呼吸器内科·心臓血 管外科 呼吸器中科·心臓血	手術は当院と札幌医科大学病院と連携して実施
胸腺腫	0	Δ	0	0	0	無			呼吸器内科·心臓血 管外科	手術は当院と札幌医科大学病院と連携して実施
縦隔胚細胞腫瘍	0	Δ		0	0	無			呼吸器内科・心臓血 管外科	手術は当院と札幌医科大学病院と連携して実施
縦隔腫瘍(上記以外の腫瘍)	0	Δ	0	0	0	無			呼吸器内科·心臓血 管外科	手術は当院と札幌医科大学病院と連携して実施
中皮腫(胸膜)	0	Δ	Δ	0	0	無			呼吸器内科·心臟血 管外科	手術は当院と札幌医科大 学病院と連携して実施
中皮腫(腹膜)	Δ		Δ	Δ	Δ	無			消化器外科・内科	
<u>食道</u> がん 胃がん	O	<u>∆</u>	0	0	0	無有			消化器外科・内科	
小腸がん	Ö	Ö	Ö	ŏ	Ö	無			消化器外科・内科 消化器外科・内科	
大腸がん(結腸・直腸)	0	<u></u>	ŏ	0	0	有			消化器外科·内科 消化器外科·内科	
肛門・肛門管がん	0	0	0	0	Ö	無			消化器外科·内科	
消化管間質性腫瘍(GIST)	0	0		0	0	無			消化器外科·内科	
消化管の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)	o o	Q	Δ	o o	0	無	(NET,NECは別	に集計表示)	消化器外科·内科	
肝臓がん	0	0	0	© ©	0	無無	(肝内、肝外を)	加一生計主二	消化器外科・内科	
胆のう・胆管がん 膵臓がん(NET/NEC以外)	0	0	0	0	0	無	(MTM, MT%)	川-朱訂衣不)	消化器外科·内科 消化器外科·内科	
膵臓の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)	0	ŏ	Δ	0	0	無	(NET,NECは別	に集計表示)	消化器外科·内科	
腹膜偽粘液腫(他のがんの腹膜播種を除く)	ŏ	ŏ		ŏ	ŏ	無	(1121,11201077)	142717	消化器外科·内科	
デスモイド腫瘍	0	0	Δ	0	0	無			消化器外科·内科	
後腹膜肉腫	0	0	Δ	0	0	無			泌尿器科	
腎がん 担条 郷地原 (神経療)原 (神経療)	Ŏ	0		0	0	無			泌尿器科	
<u>褐色細胞腫・傍神経節腫瘍(頭頸部以外)</u> 副腎皮質がん	0	0	Δ 0	0	0	無無			<u>泌尿器科</u> 泌尿器科	
<u> </u>	ŏ	Ö	Ö	Ö	ŏ	無	(腎盂・尿管・辟	胱は別に集計表	<u> 必水价</u>	
精巣腫瘍	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	Ö	無		×114X	泌尿器科	
前立腺がん	0	0	ŏ	0	0	無			泌尿器科	
子宮頸がん(上皮性)	0	0	Δ	0	0	無			産婦人科	
子宮体がん(上皮性)(子宮がん肉腫を含む)	0	0	Δ	0	0	無			産婦人科	
子宮肉腫	0	0	Δ	0	0	無無			産婦人科	
卵巣がん、卵管がん、腹膜がん(上皮性) 卵巣悪性胚細胞腫瘍	0	0		0	0	無			<u>産婦人科</u> 産婦人科	
卵果芯性肛柵胞腫瘍 外陰がん	0	Δ	0	Ö	0	無無			<u> 産婦人科</u> 産婦人科	
四肢・表在体幹の悪性軟部腫瘍	00	Δ	ŏ	Δ	Δ	無			形成外科	<u> </u>
四肢の悪性骨腫瘍	Δ	Δ	0	Δ	Δ	無			整形外科	
脊椎・骨盤の悪性骨腫瘍	Δ	Δ	0	Δ	Δ	無			整形外科	
皮膚の悪性黒色腫	Ŏ	0	<u> </u>	0	Δ	無			皮膚科	
皮膚がん(悪性黒色腫以外) 悪性リンパ腫	0	0	0	0	Δ Ο	無無			皮膚科 形成外科	投替を行う担合け切る
	00		0	0	0	無			血液内科 血液内科	移植を行う場合は紹介 移植を行う場合は紹介
急性白血病(骨髄性,リンパ性)	×		Ö	Ö	ŏ	無			血液内科	移植を行う場合は紹介
急性白血病(骨髄性、リンパ性) 慢性白血病(骨髄性、リンパ性)	0		Ŏ	Ŏ	Ö	無			血液内科	移植を行う場合は紹介
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫	00					#			内科・消化器外科	
慢性白血病(骨髄性、リンパ性)		0	Ö	O .	0	無			內件 用记备外件	
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫			○ 対応可○/他施		0		治療	開始数	内件•用16番外件	備考
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫			Ö		再発例への治療	臨床試験の実績の有無	治療 2022年		担当診療科 (複数記載可)	
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫 原発不明がん 小児(15歳未満)	診断		○ 対応可○/他施 初発例への治療			臨床試験の実績の有無		開始数	担当診療科 (複数記載可)	
慢性白血病(骨酸性、リンパ性) 多発性骨髄腫 原発不明がん 小児(15歳未満) 小児脳腫瘍 小児眼腫瘍	診断 (生検等)	手術	○ 対応可○/他施 初発例への治療 放射線 △ △	薬物療法	への治療 <u>△</u> △	無 無 無		開始数	担当診療科 (複数記載可) 小児科 小児科	備考 公開の窓口・特記事項など
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫 原発不明がん 小児(15歳未満)	診断(生検等)	手術	○ 対応可○/他施 初発例への治療 放射線	薬物療法	への治療 △	無 臨床試験の 実績の有無		開始数 2023年	担当診療科 (複数記載可)	

我が国に多いがんに対して、自施設で対応しない診療内容

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 砂川市立病院 時期·期間: 令和6年9月1日時点

我が国に多いがんに対して、下の表に状況を記載してください。

我が国に多いがん	自施設で対応している 自施設で対応しない診察	疹療内容について"○"を 療内容について"×"をλ	、 、カしてください。	自施設で対応していない診療内容についての連携先 (施設名:診療内容)
	手術療法 薬物療法		放射線療法	(施設名·診療內谷)
(例)膵臓がん	×	0	×	手術を要する膵臓がん患者は、連携する××病院に紹介している。 手術後の薬物療法については、自施設で対応している。
大腸がん	0	0	0	
肺がん	0	0	0	手術は自施設と札幌医科大学病院のいずれかで実施している。 SBRT、陽子線は他院へ依頼
胃がん	0	0	0	
乳がん	0	0	0	
前立腺がん	0	0	0	IMRT、陽子線は他院へ依頼
肝がん	0	0	0	SBRT、陽子線は他院へ依頼
胆のう・胆管がん	0	0	0	
膵臓がん	0	0	0	

カンファレンスについて

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名:砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※この別紙は任意記載です。整備指針 II の2の(1)の①のウ及びVIの2の(1)の①のオに定めるカンファレンスのうち、iv について記載してください。 なお、記載がない場合は、「記載なし」と記入してください。

iv のカンファレンスについて、検討している症例・テーマ・参加する職種等について自由記載してください。 定期的な開催が現状難しい場合には、その理由を記載してください。 緩和ケアケースカンファレンスを週1回、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、公認心理師、社会福祉士など11名程度により、10例前後の 症例について検討している。

緩和ケア外来の状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	緩和ケア外来が設定されている(はい/いいえ)						はい	
2	緩和ケア外来の名称 緩和ケア外来							
3	担当診療科名		緩和ケア外科・精神科					
4	緩和ケア外来の頻度(〇回/週)		週2回					
5	主な診療内容・特色・アピールポイント		当院の緩和ケア外来では、身体面のケア、精神面でのケア(がん患者さんのこころのケア、ご家族のケア、グリーフケアなど)に対応する外来を開設しています。それぞれ専門的知識を持った医師や看護師、公認心理士、社会福祉士などが担当し、全人的苦痛のケアを提供しています。チームで早期から介入し、早い時期からのACPを大切にしながら患者さんの望む治療、望む過ごし方など大切にしたケアの実践を心掛けています。					
	緩和ケア外来の説明が掲載されているペー	見出し	部門紹介>緩和ケア外来(身体・精神)					
6	ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピー してください	アドレス	https://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/department/care.html					
7	他施設でがんの診療を受けている、または、	診療を	受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ) はい					
	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わ	せ窓口	が設定されている(はい/いいえ)		はい			
8	窓口の名称		がん相談支援センター					
	電話番号		0125–54–2131		1056			
	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が	設定さ	れている (はい/いいえ)		はい			
9	窓口の名称		がん相談支援センター					
3	電話番号		0125-54-2131	(内線)		1056		
	祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など)						
			以下については、自施設でがん診療を受けている患者について記載してください。					
			緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数	30	人			
10	緩和ケア外来の状況 期間: 令和5年1月1日~12月31日		緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数	32	人			
			以下については、 <u>緩和ケア外来受診まで自施設でがん診療を受</u>	けていなかった	<u>・患者</u> につい	て記載	してください。	
			地域の医療機関からの年間新規紹介患者数		0	人		
			地域の医療機関からの年間受診患者のべ数		0	人		

緩和ケア病棟の状況

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名:	砂川市立病院	
時期•期間:	令和6年9月1日時点	

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

1	緩和ケア病棟を有		病棟があ	りま	せん	4					
2	緩和ケア病棟入院										
3	緩和ケア病棟の形	式									
4	緩和ケア病棟の病	床数		床							
	緩和ケア病棟に入	院した患者の申し込む	みから入院で	するまでの	平均	待	機期間			日	
5	緩和ケア病棟の年	間新入院患者数(令	和5年1月1	日~12月3	81日)				人	
	緩和ケア病棟の年	間死亡患者数(令和	5年1月1日	~12月31日	∃)					人	
		明が掲載されてい	見出し						-		
6	るページの見出し	とアトレス									
	※アドレスは、手入力も ピーしてください。	せずにホームページからコ	アドレス								
		(例) 医師			2		(例) 精神(保健福祉士	1		
	緩和ケア病棟を担										
	当するスタッフの職										
	種・人数(人)										
7	※常勤・非常勤、専 従・専任・兼任などに										
	関わらず、緩和ケア病										
	棟の診療に携わって いるスタッフについて										
	記載してください。										
	■地域の患者さん	やご家族向けの問い	合わせ窓口	が設定され	てし	ハる	ら(はい/いい	え)			
	窓口	の名称									
8	電記	括番号	(内線)								
		いて掲載しているホー	見出し								
	ムページ		アドレス								
	■地域の医療機関	関向けの問い合わせ窓	窓口が設定さ	されている	(は)	/۱,	(いいえ)				
9		の名称	/ 中で白い								
		舌番号	(内線)								
	問い合わせ窓口につ ムページ	いて掲載しているホー		見出し							
			アドレス		_^	_	, , , ,	- A + 1 - = 1			
4.0	緩和ケア病棟の	例:家族用キッチン、家 ビスがある)、特殊入浴		≦、ランドリー	-、デ	イル	ノーム(食事や面	面会者との談話、ボランテ	ィアによる	ティーサー	
10	設備										
		例:自施設で実施して を紹介している、など		·医療法人(の施	設-	で実施している	る、連携している訪問看	護ケアス	ステーション	
11	訪問看護ケアの 有無	で 小口 ハ し て い 、 の 、 な こ									

地域緩和ケア連携体制

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済 病院名:砂川市立病院 時点: 令和6年9月1日時点 【緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数】 令和5年1月1日~12月31日 自施設が主催したもの(※共催を含む) 22 回 地域内の他施設が主催したもの 注1) 多職種連携カンファレンスとは「地域全体の医療を推進するため地域医療を支える多施設かつ多職種の連携強化と顔の見える関係づくりを目的として、緩和ケアに関わる多職種の医療・介護従事者等が一堂に会する場」とする。 注2) 患者の退院支援カンファレンス等、患者個人の情報共有のために開催したカンファレンスは含まない。 【緊急緩和ケア病棟について(都道府県がん診療連携拠点病院のみ)】 緊急緩和ケア病床数 床 2 緊急緩和ケア病床の入院患者数(令和5年1月1日~12月31日) 5 【がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて】 ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて、自施設で実施している。 はい ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供実施延べ人数(令和5年1月1日~12) 95 【自施設で実施できない場合には、連携している医療機関名等、がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供における連携協力体制を記入】

緩和ケアチームのメンバーと活動

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアチームのメンバーについて記載してください。

注/ 帝動Cは、原則Cしに例防じたのに動物时间の主にを動物する白をいり。例防じたのに体即の1週间の動物时间か、32时间不満の場合は、

20時間以上勤務 アハス老を労動と その他は非労動とする

医師以外の診療従事者について(複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載)

	職種	常勤 /非常勤	専門資格(取得している場合)
例	管理栄養士	常勤	がん病態栄養専門管理栄養士
1	看護師	常勤	緩和ケア認定看護師
2	薬剤師	常勤	緩和薬物療法認定薬剤師、緩和医療専門薬剤師
3	栄養士	常勤	
4	理学療法士	常勤	がんのリハビリテーション研修修了
5	作業療法士	常勤	がんのリハビリテーション研修修了
6	言語療法士	常勤	がんのリハビリテーション研修修了
7	社会福祉士	常勤	精神保健福祉士、がん専門相談員
8	公認心理師	常勤	臨床心理士
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

緩和ケアチームの活動頻度について記載してください。(〇回/週(もしくは月、年)となるように入力してください。)

病棟ラウンドの頻度	5	回/週
カンファレンスの頻度	1	回/週

緩和ケアチームの活動内容について記載してください。

定期的な病棟ラウンド及びカンファレンスによる、依頼を受けていないがん患者も含めた苦痛の把握、適切な症状緩和に関する助言や指導等の方法や内容を記載してください。

・緩和ケアチームとしてラウンド時に病棟スタッフや多職種間からの情報共有や本人からの訴えにより、苦痛の把握を行っており、主治医 や病棟スタッフに対して疼痛コントロールやメンタルケアの薬剤調整、患者本人のために配慮して欲しい事などについて緩和の視点から 助言・指導を実施しています。

緩和ケアチームの看護師による、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟における看護業務の支援・強化の内容について記載してください。(記載例:看護師を含む院内の全スタッフに対する苦痛の把握や専門的緩和ケアに関する研修会を実施。病棟ラウンド時に各病棟の看護師に対し、苦痛の把握について指導。)

・緩和ケア認定看護師として患者・家族の人生観と生活に関わるQOLの観点と辛い症状に対する全人的苦痛の視点をもとに、苦痛症状のアセスメントと各症状の評価を行い、患者のセルフケア能力に合わせて、価値観を尊重したケアを提供している。また、ACPやエンド・オブ・ライフを実現できるよう、病状の経過を見通し必要時患者と家族が大切にしている価値観や意向を代弁しながら、

患者及び家族が利用可能なインターネット環境

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	入院患者とその家族が病室で利用できるインターネット環境がある。	いいえ	(はい/いいえ)				
'	(上記が"はい"の場合に回答してください)上記は無料で利用できる。		(はい/いいえ)				
	(1が"はい"の場合に回答してください)インターネット環境が医療機器等に干渉しないよう、各種のガイドラインを参照している。		(はい/いいえ)				
	2が"はい"の場合に、参考としたガイドライン名を以下の欄に記入してください。						
2							

がん患者の特性に応じた支援

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名:砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

自施設でAYA世代のがん患者の支援を行っている はい (はい/いいえ) 「はい」の場合は、自施設で行うことができる支援の内容を記載してください。 AYA世代のがん患者の就労支援として月に●回の頻度で社労士の訪問を受けている。 がん相談支援センターに両立支援コーディネーターを配置し、相談を受け必要に応じてハローワークの社労士に協力を得ながら就労支援を行っている。がん相談支援センタースタッフは積極的に研修を受け相談対応している。 WEB講演会のポスターや冊子等をどなたでも気軽に休憩できるスペースで閲覧・ご自由に持ち帰りいただく等の情報提供に努めている。 自施設でAYA世代のがん患者に関する支援が行えない場合は、患者を紹介する等、AYA世代の支援で連携する施設名を記載してください。 北海道大学病院の遺伝子診療部などと連携して対応する。 多職種からなるAYA支援チームを設置している。 いいえ (はい/いいえ) 「はい」の場合は、AYA支援チーム構成員の職種を記載してください。 現在AYAサポートグループの立ち上げの準備を進めており、化学療法認定看護師によるアピアランスケアの実践や がん研修を修了した助産師なども参加し妊孕性について相談できる環境を構築している。 はい (はい/いいえ) 自施設で、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成・配置を行 「はい」の場合は、意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成に関する取組状況を記載してください。 専門的な知識を維持するため、講習会、研修会等に参加している。院内にACP委員会を設置し、 各部署のリンクナースが参加し学習会や検討会などを行っている。 がん患者の妊孕性の温存に関する支援について、自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 該当する患者に対し、原疾患の種類・状態・治療方法・妊孕性温存の可能性や生命予後に与える影響等の情報提供を主治医から行い、 連携施設への紹介希望の有無を必ず確認する。必要に応じてがん相談支援センターの看護師・心理士等の研修を受けたスタッフが 意思決定支援を担当する。 がん患者の就学に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 地域の保健師等とも協働の上、適宜対応している。 自施設の訪問看護ステーションと協力して通学中の緊急訪問看護実施や学校側からの医療相談などに対応している。 がん患者の就業に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 主治医・看護師・両立支援コーディネーターの研修を受講した相談員が連携し、患者のニーズに合わせて支援を行っている。 主に各地域のハローワークの社労士などと連携している。 がん患者のアピアランスケアに関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内容を記載してください。 現在は化学療法室・がん相談支援センターが窓口となり、相談対応や、ウィッグ・ケア用品当を紹介を行っている。 アピアランスケアを実践している企業と連携しアピアランスケア外来を行っている。(令和6年11月から始動予定) 高齢のがん患者に関して、高齢者機能評価の実施状況や、評価を行う体制、人員の状況などについて記載してください。なお、ツールや尺度等を用いて高齢者 機能評価を実施している場合は、そのツール等も記載してください。 入院時には総合機能評価表に準じた評価に加えて「生活のしやすさ」というシートで症状コントロールや生活支援の必要性の評価を行い、 本人やご家族の希望に沿った療養先の選択が行えるように多職種協働で退院支援を行っている。

相談支援センターの相談件数と相談支援内容

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名:砂川市立病院

期間:令和5年1月1日~12月31日

※「自施設の患者・家族」とは、貴院で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院で診療を受けた患者・家族のことをさしています。 「他施設の患者・家族」とは、貴院以外の医療機関で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院以外の医療機関で診療を受けていた患者・家族のことをさしています。なお、自施設と他施設のいずれでも診療を受けている患者・家族については、「自施設の患者・家族」に含めてください。 ※本設問は相談支援センターでの相談件数及び体制についてお伺いしております。

●年間ののべ相談件数

751

1. 相談件数(新規相談件数に限る)

	相談者	計
1	自施設の患者・家族	106
2	1以外の患者・家族・地域住民等	16
3	他の医療機関等の職員	15
	合計	137

- ●年間ののべ相談件数の内容についてそれぞれ相談件数を記載してください。・項目の番号については、厚生労働省研究費補助金「がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班」が作成した「相談記入シート」を参考にして がます。 ・1回の相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの項目に計上して構いません。なお、詳細なカウントの方法については「相談記入シート」をご参照ください。
- https://ganjoho.jp/med_pro/consultation/support/registration_sheet.html

相談内容	件数	相談内容	件数
01.がんの治療	134	15.食事・服薬・入浴・運動・外出など	74
02.がんの検査	10	16.介護·看護·養育	75
03.症状·副作用·後遺症	8	17-1.社会生活(仕事・就労)	18
03-01. 03のうち妊孕性・生殖機能	0	17-2.社会生活(学業)	0
03-02. 03のうちアピアランス	4	18.医療費・生活費・社会保障制度	83
03-03. 03のうち晩期合併症	0	19.補完・代替医療	0
03-04. 03のうち長期フォローアップ	10	20.生きがい・価値観	180
04.セカンドオピニオン(一般)	2	21.不安·精神的苦痛	289
05.セカンドオピニオン(受け入れ)	6	22.告知	2
06.セカンドオピニオン(他へ紹介)	19	23.医療者との関係・コミュニケーション	39
07.治療実績	0	24.患者-家族間の関係・コミュニケーション	132
08.臨床試験・先進医療	9	25.友人・知人・職場との関係・コミュニケーション	11
09.受診方法	69	26.患者会・家族会(ピア情報)	6
10.転院	59	88.不明	0
11.医療機関の紹介	35	99.その他(下段に自由記載してください)	10
12.がん予防・検診	0	温熱療法について/緩和ケアについて	3
13.在宅医療	67	面談日予約	2
14.ホスピス・緩和ケア	3	末期がん受け入れの問い合わせ/挨拶	1

がん相談支援センターの問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	相談支援センターの名称	がん相談支援センター			
2	問い合わせ先電話番号		0125-54-2131	(内線)	1056
	WebサイトのURL		https://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/department/c_ce	nter.html	
3	■対面相談の実施 (実施/未実施)	実施			
3	予約の要否(必要/不要)	不要			
	■電話相談の実施 (実施/未実施)	実施			
	電話番号		0125-54-2131	(内線)	1056
	予約の要否(必要/不要)	不要			
4	■FAX相談の実施 (実施/未実施)	未実施			
4	FAX番号				
	■電子メール相談の実施 (実施/未実施)	実施			
	メールアドレス ※個人のメールアドレスは記載しないでください		gan_soudan@med.sunagawa.hokkaido.jp		
	■Web会議ツールを活用した遠隔相談の 実施(実施/未実施)	未実施			

がん相談支援センターの体制

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期·期間: 令和6年9月1日時点

※様式4の回答と齟齬がないようにすること。

注1)「専任」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

■国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」について(がん相談支援センター内の人数)

	対象者					
国立	国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)~(3)の修了者数					
	うち相談支援に携わる者の専任の人数(<u>専任</u> かつ <u>専従でない者</u>)(注1)	1				
	うち相談支援に携わる者の専従の人数(<mark>注1</mark>)	1				
国立	国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)のみの修了者数					
	うち相談支援に携わる者の専任の人数(<u>専任</u> かつ <u>専従でない</u> 者)(注1)	1				
	うち相談支援に携わる者の専従の人数(<mark>注1</mark>)	1				

■定期的な知識の更新のための研修等(がん相談支援センター内の人数)

対象者				
①がん相談支援センターに配置されている相談支援に携わる者のうち、国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員継続研修の受講もしくは「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)の再受講をした人数※				
②相談支援に携わる者のうち、上記以外の研修を受講した人数				
②の具体例 がんゲノム医療コーディネーター				

[※]がん相談支援センター相談員継続研修は令和5年度より廃止され、「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)(2)に統一されていま

■がん相談支援センターの体制について

- ※以下の1~6に該当する人数は必ず記載すること。その他の体制についてはそれぞれ記載すること。 ※専従・専任・その他については、当該の相談支援に携わる者が8割以上当該業務に従事している場合には専従、5割以上 8割未満の

場合には専任、5割未満の場合にはその他としてください。

	職種等	専従/専任/その他(注1)	人数	うち常勤の 人数(<mark>注2</mark>)	両立支援コーディネー ター研修を受講した人 数
例	社会福祉士	専従	3	2	3
例	看護師	専任	2	1	2
1	社会福祉士	専従	1	1	1
2	社会福祉士	専任	0	0	0
3	社会福祉士	その他	0	0	0
4	精神保健福祉士	専従	0	0	0
5	精神保健福祉士	専任	0	0	0
6	精神保健福祉士	その他	0	0	0
7	看護師	専従	1	1	0
8	看護師	専任	1	1	0
9	看護師	その他	0	0	0
10	医療心理に携わる者	専従	0	0	0
11	医療心理に携わる者	専任	1	1	0
12	医療心理に携わる者	その他	0	0	0
13	事務員	専任	1	1	0
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					

22			
23			

■がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制

整備していると回答した場合、記載すること。整備していない場合は、「整備していない」と記入すること。

※必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む

がん患者及びその家族ががん相談支援センターを訪問できる体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

・ポスターやデジタルサイネージ、ホームページを使った広報活動、携帯用に名刺サイズのカードを作成し、院内各所へ設置している。 ・外来、病棟スタッフ、退院支援係による紹介

■がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制

がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

・外来、病棟、退院支援係からの情報提供。

・面談後に口頭で確認し、相談者の反応も含めて記録に記載している。面談後多職種で共有し評価に繋げている。

院内外のがん患者等からの相談に対応するための連携協力体制の状況

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

(複数回答可)

(はい/いいえ)

(はい/いいえ)

病院名: 砂川市立病院 時期・期間: 令和6年9月1日時点

●就労□	二脚っ	- ス海	堆協	2 77	休告

①専門家による相談会の開催回数

②専門家の職種(例:社労士、キャリアコンサルタント等を全て記載)

●アピアランスケアに関する連携協力体制

アピアランスに関する相談を院内で対応している

院内でアピアランスケアに関する相談・支援を行っている部署

相談・支援の件数(がん相談支援センターでの件数は除く)

●がん患者の好孕性温存に関する連携協力体制

①相談に対応している部署(例:がん相談支援センター、化学療法室等)

①-1意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院内で実施している

①-2意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院外に依頼している

②がん患者の妊孕性温存のための生殖医療

②-1がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする自施設内の部門へ紹介した患者の人数

②-2がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする他施設へ紹介した患者の人数

③自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

③-1紹介先施設名(複数回答可)

④他の自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

④-1紹介先施設名(複数回答可)

⑤意思決定支援に関わる人材育成を実施している(「いいえ」の場合は⑤-1、⑤-2は「いいえ」を記入ください

⑤-1研修会を院内で実施している

⑤-2学会等の研修会への参加を励行している

●がん患者の自殺リスクに対する体制

院内で自殺リスクに対する研修を開いている。

- ●患者サロン等の開催状況
- ①患者サロンの開催件数
- ②患者会の開催件数

②-1患者会のうち、オンラインで開催した件数

③サポートグループが主催した研修の開催件数

●がん患者団体との連携協力体制

①連携協力しているがん患者団体数

②連携協力しているがん患者団体

※代表的ながん患者団体のみ記載してください。

※患者団体の参加対象者が特定の疾患に限られていない場合には、「**すべてのがん**」と記載してください。

期間:令和5年1月1日~12月31 社労士 (複数回答可)

はい	(はい/いいえ)
がん相談支援センター、乳腺外科	(複数回答可)
119	(期間:令和5年1月1日~12月31 日)

がん相談支援センター

はい

はい

		<u> </u>
	0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
	0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
	はい	(はい/いいえ)
	北海道大学病院・札幌医科大学病院・旭川医科大学 病院など	(複数回答可)
	はい	(はい/いいえ)
	北海道大学病院・札幌医科大学病院・旭川医科大学 病院など	(複数回答可)
١,)	はい	(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)

はい	(はい/いいえ)
	
8	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
8	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)

;	※「紹介の可否」には、患者さんや家族から、その団体について問い合わせがあった際、具体的な紹介ができるかどうかについて記載してください。				
	連携協力しているだ	ぶん患者団体 しゅうしゅう			
	団体名	参加対象者 の疾患名	具体的な連携協力の内容	紹介の可否	
例	00000会	造血器腫瘍	患者会と共同で、月1回、患者サロンを開催している。	可	
例	00000会	乳がん	相談支援センターで、週1回、2名ずつ、ピアサポーターとして活動してもらっている。	可	
例	00000会	すべてのがん	年4回開催している市民講演会の開催への協力、また、演者として参加してもらっている。	不可	
1	ピンクリボン・ディスカバ	乳がん	がんサロンピアサポーターや個別相談などで活動してもらっている。緩和ケア研修会講師として協力	可	
2	日本オストミー協会	大腸がん・膀胱がんなど	がんサロンピアサポーターや個別相談などで活動してもらっている。	可	
3	PSA北海道	前立腺がん	がんサロンピアサポーターや個別相談などで活動してもらっている。	可	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					

別紙14連携協力体制

がんの診療に関連した専門外来の問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※ がん診療に関連した専門外来の「対象となる疾患名」の項目は、以下の表の疾患名を用いて記載してください。 表の中に、該当する病名がない場合は、その病名を直接記載してください。 また、すべてのがん種が対象となる場合は、「**すべてのがん**」と記載してください。

頭部/頸部	消化管	泌尿器	女性	その他
脳腫瘍 脊髄腫瘍 眼・眼窩腫瘍 口腔がん 咽頭がん・喉頭がん甲状腺がん	食道がん 胃がん 小腸がん 大腸がん GIST	腎がん 尿路がん 膀胱がん 副腎腫瘍	子宮頸がん・子宮体がん 卵巣がん その他の女性生殖器がん	後腹膜・腹膜腫瘍 性腺外胚細胞腫瘍 原発不明がん
胸部	肝臓 /胆道 /膵臓	男性	皮膚/骨と軟部組織	小児
肺がん	肝がん	前立腺がん	皮膚腫瘍 悪性骨軟部腫瘍	小児脳腫瘍 小児の眼・眼窩腫瘍
乳がん 縦隔腫瘍	胆道がん	精巣がん その他の男性	血液・リンパ	小児悪性骨軟部腫瘍
中皮腫	膵がん	生殖器がん	造血器腫瘍	その他の小児固形腫瘍 小児造血器腫瘍

1. 【ストーマ外来】の問い合わせ窓口

1	ストーマ外来が設定されている(はい/いいえ)					
2	上記外来の名称 ストーマケア外来					
3	対象となるストーマの種類	結腸ストーマ				
4		大腸がん、小腸がん (尿路ストーマ:尿路浸潤しOPした膀胱がんや子宮体がんなども対象)				
5	5 他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ) い					

2. 【リンパ浮腫外来】の問い合わせ窓口

1	リンパ浮腫外来が設定されている	いいえ	(はい/いいえ)	※リンパ浮腫の研修修了者とは、厚生労働省後援のがんの! ビリテーション研修におけるリンパ浮腫研修運営委員会が策: た、「専門的なリンパ浮腫研究に関する教育要綱」にそった研 (講義45時間以上)を修了した医療従事者のことをいう。			
2	研修を修了した担当者が配置されている※	いいえ	(はい/いいえ)				
3	上記外来の名称						
4	対象となる疾患名						
5	リンパ浮腫の診療担当科						
6	リンパ浮腫の入院治療に対応している	対応している	対応している (対応している/対応していない)				
7	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ) いいえ						

3. 【 禁煙外来 】の問い合わせ窓口

1	禁煙外来が設定されている(はい/いいえ)					
2	2 上記外来の名称 禁煙外来(現在休診中)					
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)					

4. 【アスベスト外来】の問い合わせ窓口

1	アスベスト外来が設定されている (はい/いいえ)				
2	上記外来の名称				

3	他施設でがんの診療を受けている、または診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)	いいえ
•		

5. 遺伝性腫瘍に関連した専門外来の問い合わせ窓口

1	遺伝性腫瘍外来が設定されている (はい/いいえ)					
2	2 上記外来の名称 遺伝性カウンセリング外来、遺伝子検査外来					
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療	を受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)	はい			

6. 追加で記載を希望する外来について	
1 追加で記載を希望する外来がある場合には、以下に疾患名等の情報を自由に記載してください。	
こころの緩和ケア外来:がん患者、家族遺族などに対するグリーフケア(すべてのがん)	

院内がん登録部門の体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※院内がん登録業務に携わっているスタッフを記載してください。

注1)様式4の回答と齟齬がないようにすること。

注2)常勤とは原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以

上」、当該業務に従事している者をいう。

	資 格	診療情報 管理業務の 経験年数 (年)	院内がん 登録業務の 経験年数 (年)	常勤 /非常勤	院内がん登録業務 についての 専従/専任/その他	がん対策情報センターによる院内がん登録 実務 初級者研修会・中級者研修会の修了状況 研修会名・受講状況
例	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	初級認定者(みなし含む)
例	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	初級認定試験・受験なし
1	診療情報管理士	8	7	常勤	専従	中級認定者
2	診療情報管理士	5	4	常勤	専任	中級認定者
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

臨床試験・治験の実施状況および問い合わせ窓口

記載の有無:	7 -	h:文 /	/ 土 1	もなけ
記載の有無:	Λ	リ済く	木人	こりめり

入力済

病院名:	砂川市立病院	

1. 臨床試験・治験の問い合わせ窓口

令和6年9月1日時点

1)【臨床試験(治験を除く)】の問い合わせ窓口

	■臨床試験に参加し	ていない、	地域の患者さんやご家族向けの問い	合わせ窓口	コの有無	まについ	て相	談支援も	ンター	が窓口となって	いる	
	※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。							_	_	_		
	問い合わせへ対応し	問い合わせへ対応している方法に〇をつけてください。					0	FAX		電子メール		
	窓口の名称	Ţ.	がん相談支援センター	がん相談支援センター								
1	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ ずにホームページからコ	見出し	部門紹介>がん相談支援センター	門紹介>がん相談支援センター>がん相談								
	ピーしてください	アドレス	https://www.med.sunagawa.hokka	tps://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/department/details/post-20.html								
	電話番号		0125-54-2131	(内線			内線)	1056				
	■臨床試験に参加していない、地域の医療機関向けの問い合わ				せ窓口について			窓口はない				
	※臨床試験専用の窓	ごさい 。				_						
	問い合わせへ対応し	ている方	法に〇をつけてください。	窓口		電話		FAX		電子メール		
	窓口の名称	<u>r</u>										
2	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ ずにホームページからコ	見出し										
	ピーしてください	アドレス										
	電話番号					(内線)					

2) 【 治験】の問い合わせ窓口

	【治験】の問い合わ	にお口									
	■治験に参加していない、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について 相談支援センターが窓口となっている										
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	ている方	法にOをつけてください。	窓口	0	電話	0	FAX		電子メール	
	窓口の名称	7	がん相談支援センター								
1	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ	見出し	部門紹介>がん相談支援センター	門紹介>がん相談支援センター>がん相談							
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス	https://www.med.sunagawa.hokka	ttps://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/department/details/post-20.html							
	電話番号		0125-54-2131 (内紙				内線)	1056			
	■治験に参加していない、地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について							窓口はない			
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	ている方	法に〇をつけてください。	窓口		電話		FAX		電子メール	
	窓口の名称	T									
2	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ	見出し									
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス									
	電話番号					()	内線)				

院内のチーム医療の提供体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 砂川市立病院

令和6年9月1日時点

1	(がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断時から一貫して行っており、緩和ケアに関する診療報酬の項目が算定できる体制であること)	はい
2	院内に口腔ケアチームが設置されている。 (周術期等口腔機能管理に関する項目が算定できる体制であること。)	はい
3	院内に栄養サポートチームが設置されている。 (診療報酬の栄養サポートチーム加算が算定できる体制であること。)	はい
4	院内に感染防止対策チーム(感染制御チーム)が設置されている。 (感染対策に関する診療報酬の項目が算定できる体制であること。)	はい
5	院内に摂食嚥下支援チームが設置されている。 (診療報酬の摂食嚥下機能回復体制加算等が算定できる体制であること。)	はい
6	院内にリハビリテーションチームが設置されている。 (診療報酬のがん患者リハビリテーション料が算定できる体制であること。)	はい
7	院内に排尿ケアチームが設置されている。 (診療報酬の外来排尿自立指導料が算定できる体制であること。)	はい
8	院内に精神科リエゾンチームが設置されている。 (診療報酬の精神科リエゾンチーム加算が算定できる体制であること。)	はい

医療安全管理等の体制について

記載の有無:入力済/未入力あり

入		

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

①-1 医療安全管理部門が配置されている。

はい (はい/いいえ)

①-2 医療安全管理部門がある場合に、そのメンバーについて記載してください。(①-1が"はい"の場合のみ、①-2に回答してください。) 注1)研修医は除いてください。

注2) 常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者を いいます。

注4)「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」(平成19年3月30日付け医政発0330019号厚生労働省医政局長通知及び薬食発第 0330009号厚生労働省医薬食品局長通知)に基づく研修を想定しています。

		職種(注1)	常勤	専従/専任	医療安全に関する研修の受講状況(注4)			
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	/非常勤(<mark>注2</mark>)	/その他(注3)	受講した研修名	研修主催者名	修了日	
1	部門長	医師	常勤	その他(5割未満)	医療安全管理者養成研修会	医療安全全国協同行動	H31.1.26	
2		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者養成研修会	北海道看護協会	R3.4.17	
3		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者養成研修会	日本看護協会	R6.12.2	
4		薬剤師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医薬品安全管理責任者等講習会	日本病院薬剤会	R6.1.20	
5		その他	常勤	その他(5割未満)	医療安全管理者養成研修会	医療安全全国協同行動	R3.11.14	
6		その他	常勤	その他(5割未満)	医療安全管理者養成研修会	医療安全全国協同行動	受講中	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

②第三者による評価に関する状況について記載してください。 要件充足としては、JCI、ISO9001、日本医療機能評価機構 病院機能評価のみ該当と整理している。 第三者による評価を受けていない場合は、「受審なし」と記入ください。また、最終評価日は最終受審年月日(初日のみで構いません)を記入ください。

	活用した第三者評価	最終評価日	有効期間 (定められている場合のみ記
例	JCI	平成31年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	ISO9001	令和2年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	日本医療機能評価機構 病院機能評価	平成30年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
1	日本医療機能評価機構 病院機能評価	令和3年9月30日	令和7年11月20日
2	医療安全対策地域連携加算 施設間評価 滝川脳神経外科病院	令和5年11月24日	
3			
4			
5			

緩和ケアセンターのメンバー(医師および医師以外の診療従事者)

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアセンターのメンバーについて記載してください。なお、別紙8緩和ケアチームのメンバーを含めて記載して構いません。

※様式4の回答と齟齬がないように記載してください。

注1)研修医は除いてください。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、 32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。 注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務

に従事している者をいいます。

に仕事している者をいいます。 注4)ジェネラルマネージャーは、緩和ケアセンターの機能を管理・調整する常勤・専従、かつ院内において管理的立場の看護師であること。 注5)相談支援に携わる者については、相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、相談支援センター内にて当該業務に従事することを可とする。ただし、この場合の専任とは、緩和ケアセンターにおける相談支援業務を中心となって担当していればよく、その就業時間の5割以上を緩和ケアセンターにおける相談支援業務に従事していることは求めない。

1. 緩和ケアセンターが設定されている (はい/いいえ)

いいえ

2. 緩和ケアセンターの医師について(注1)

	役割	人数	診療科の内訳	
例	身体症状の緩和に携わる医師	3	麻酔科2名(※内1名は緩和ケアセンター長)、消化器外科1名	
	身体症状の緩和に携わる医師			※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須
	精神症状の緩和に携わる医師			※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須

3. 緩和ケアセンターの看護師について(ジェネラルマネージャーおよび専門資格を有する者のみ記載してください。)

_	3. 板州ソアセンブーの有機即について				
	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(注3)	専門資格 (がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師等)	
1	ジェネラルマネージャー(<u>注</u> 4)	常勤	専従(8割以上)		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
2	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		※都道府県がん診療連携拠
3	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		点病院は、2名以上配置必須
4	ジェネラルマネージャーではない看護 師				
5	ジェネラルマネージャーではない看護 師				
6	ジェネラルマネージャーではない看護 師				
7	ジェネラルマネージャーではない看護 師				

4. 薬剤師について

	11 Marie C								
	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他 <mark>(注3)</mark>	専門資格 (がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師 等)					
1	薬剤師				※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須				
2	薬剤師								
3	薬剤師								

5. 専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者について(注5)

	センターでの役割	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(注3)	専門資格	
1	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者		専任		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
2	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者				

3	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者		
	又抜未物に携わる白		

6. 緩和ケアセンターの医師・看護師・薬剤師・専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者以外の診療従事者について

	職種	常勤/ 非常勤(<mark>注2</mark>)	専従/専任 /その他(<u>注3)</u>	専門資格(取得している場合)
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 砂川市立病院

期間: 令和5年1月1日~12月31日

りやすく説明してください。

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について、都道府県内で最も多くの患者を診療していることを明記し、必要に応じ図等を用いわか このシートのほかに資料がある場合は、<mark>ファイル名の頭に別紙22を付けた</mark>電子ファイル、別添資料を提出すること。 別添資料の提出有無 (あり/なし) (ワード/エクセル/パワー<u>ポイント/その他)</u> ファイル形式 その他の場合ファイル形式を記載してください。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 人 年間院内死亡当該がん患者数 当該がんに係る年間の手術件数 件 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 件 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 人 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 人 年間外来当該がん患者のべ数 年間院内死亡当該がん患者数 人 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 年間院内死亡当該がん患者数 人 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 件 当該がんに係る年間の放射線治療件数

別紙22集学的治療提供体制

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

がん診療連携拠点病院等との連携診療体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 砂川市立病院

時期·期間: 令和6年9月1日時点

緊急な治療が必要な患者や合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による診 療体制について、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。 このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙23を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること

別添資料の提出有無		(あり/なし)	<u>M1//こ</u> 电] ンノイ/レ、ル	:////	_ 0
ファイル形式			/パワーポイント/その他)	
その他の場合ファイル	形式を記載してください				
【緊急な治療が必要な患者 診療体制】			要な患者に対するがん	~ 疹療連携拠点病院等。	と連携による
砂7泉 平 叩! 』					

特定領域がん診療連携拠点病院の人材交流について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名:砂川市立病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

※他の拠点病院等との人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	期間	職種	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	看護師	XX病院	がん看護認定看護師
例	派遣	令和5年10月1日~12月31 日	医師	YY病院	上部消化器外科
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

グループ指定の状況

記載の有無:入力済/未入力あり/不要	不要
病院名:砂川市立病院	

地域がん診療病院が記入

■グループ指定のがん診療連携拠点病院との定期的なカンファレンスの開催実施件数 期間: 令和5年1月1日~12月31日

■ 5	グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携と役割分担の状況 時期:令和6年9月1日時点					
	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)			
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

グループ間の人材交流計画について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

病院名: 砂川市立病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

地域がん診療病院が記入

※グループ指定施設間での人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	期間	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	XX病院	消化器外科
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

グループ指定の状況

がん診療連携拠点病院が記入

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

病院名: 砂川市立病院

■グループ指定を受ける地域がん診療病院との連携と役割分担の状況

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

都道府県協議会の内容

記載の有無:入力済/未入力あり/不要 不要 都道府県がん診療連携拠点病院が記入 病院名: 砂川市立病院 ※同一都道府県に複数の都道府県がん診療連携拠点病院が整備されている場合は、都道府県内で回答内容に齟齬が生じないよう 時期・期間: 令和5年4月1日~令和6年3月31日 ●令和5年度に開催した都道府県協議会について記載してください。 (1)患者本位のがん医療を実現する等の観点から、当該都道府県における対策を強力に推進するための議論を行った。 (2)都道府県全体のがん医療等の質の向上のために、都道府県内のどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保すべく、以下の議論を行った。 ① 地域の実状に応じて、医療機関間の連携が必要な医療等について、都道府県内の各拠点病院等及び他のがん診療を担う医療機関における役割分担を整理・明確化し、その内容を関係者間で共有するとともに広く周知した。 都道府県レベルで役割分担すべき項目(※)について議論した。 ②地域がん診療病院とがん診療連携拠点病院とのグループ指定の組み合わせを調整・決定した。
③ 都道府県内の拠点病院等の院内がん登録のデータやがん診療、緩和ケア、相談支援等の実績等を共有、分析、評価、公表等を行った。
各都道府県とも連携し、Quality Indicatorを積極的に利用するなど、都道府県全体のがん医療の質を向上させるための具体的な計画を立案・実行した。
院内がん登録実務者の支援を含めて都道府県内のがん側連情報収集や利活用等の推進に取り組みだ。
④ 地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議を行い、拠点病院等の間で情報共有や役割分担を含む連携体制を整備した。
⑤ 当該都道府県における特定機能病院である拠点病院等と連携し、地域におけるが心診療に従事する診療従事者の育成及び適正西置に向けた調整を行った。
⑥ 整維性をは、四の40(2)に基づき、共変対の作用における場合を発生を発生の20(2)に基づき、対象対象が、対象性に対しる体で概念を発生した。 ⑥ 整備指針Ⅱの4の(3)に基づき当該都道府県における拠点病院等が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修やその他各種研修に関する計画を作成している。 ⑦ 当該都道府県内の医療機関における診療、緩和ケア外来、がん相談支援センター、セカンドオピニオン、患者サロン、患者支援団体、在宅医療等へのアクセスについて情報を集約し医療機関間で共有するとともに、冊子やホームページ等でわかりやすく広報している。 アグゼスについて情報を集新した旅機関側に失れす。ることも、mm・マホーム・・ファ・マカル・ファ・ストスにしている。
圏 国協議会との体系的な連携体制を構築している。⑨ 国立がん研究センターによる研修に関する情報や国協議会での協議事項が確実に都道府県内で共有・実践される体制を整備している。⑩ 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、当該都道府県や各がん医療圏におけるBCPについて議論を行った。⑪ 地域における医療情報の共有の取組について、がんの分野からも検討し、体制整備に取り組んでいる。 【参考】 ●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会の参加者について 同一都道府県内の全ての拠点病院等が参加した 間が見れている。 都道府県庁等の行政の参加があった 拠点病院等以外の地域のがん診療を行う者の参加があった ●都道府県協議会の広報体制について ●前退府採励應表の仏報体制にしい、 都道府県協議会についてわかりやすく広報を行うためのWebサイトがある。 Webサイトや、冊子等で、都道府県協議会で議論された内容を広報している。 WebサイトのURL ●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会での議論の内容について 都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を提出すること。(ファイル名の頭に別紙28を付けること) (※)都道府県レベルで役割分担すべき項目は以下である。

43/44

クがん・生殖医療(別途実施されている「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」におけるがん・生殖医療ネットワークと協働して実施。) ケがんゲノム医療

地域連携の推進体制(歯科との連携)について

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 砂川市立病院

時期: 令和6年9月1日時点

地域連携の推進体制のうち、歯科との連携について、必要に応じて図等を用いてわかりやすく説明してください。 このシートのほかに資料がある場合は、ファイル名の頭に別紙Oを付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

1. 院内の口腔ケアチームのメンバーの職種及び人数について

院内に口腔ケアチームを設置している場合、記入すること。

地域の歯科医師等と連携している際は、そのことがわかるように備考欄に記入をお願いします。

	職種	人数	備考欄:院外との連携の際は連携先を記載ください(例:郡市歯科医師会と連携/近隣の歯科医師と個別に連携 等) なお、特段記載事項がない場合は空欄としてください。
例	歯科医師	2	近隣の歯科医師と個別に連携
1	歯科医師(院内)	2	
2	歯科衛生士(院 内)	4	
3	看護師(院内)	1	
4	事務職員(院内)	1	歯科助手
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

2. 歯科との連携体制の有無について

(1)	院内に歯科の診療科がある。 (はい/いいえ)			はい	
(2)	口腔機能が低下したがん患者に対して口腔機能の評価や改善のために歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築/でない)	院内及	院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築		
(3)	周術期におけるがん患者の口腔健康管理について歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築にていない)	ß	院内の歯科医師と連携体制を構築		
(4)	栄養サポートチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	ß	院内の歯科医師と連携体制を構築		
(5)	緩和ケアチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	院内の歯科医師と連携体制を構築			
(6)	上記(2)~(5)において地域の歯科医師と連携体制を構築している場合、連携している地域(院外)の歯科医療機関数		55	施設	

- (7) 上記(2)~(5)において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているかそれぞれ記載してください。
- (3) 主科の医師からコンサルテーションをうけている。 (4) 2名の歯科医師がそれぞれ2チームのNSTに分かれて参加している。抗がん剤治療、手術患者に関しては、治療前から継続した口腔ケア・歯科治療・口腔ケア指導等を院内の歯科で実施している。必要時、地域の歯科医院に情報提供を行っている。

(8))上記(2)~(5)以外において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているか記載してください。